



導入ガイド

はじめに

Biz/PrintServer をご利用いただき、誠に有難うございます。

本ガイドは、Biz/PrintServer の基本的な使用方法について理解していただくことを目的として作成致しました。

本製品の導入に向けて本ガイドが、皆様のお役に立つことを心より願っております。

- ・ 本ガイドは Biz/PrintServer を使った Web 帳票システムの構築方法を具体的な例を示しながら説明しています。
- ・ 詳細情報は「Biz/PrintServer オンラインマニュアル」をご覧ください。
- ・ 本ガイド および、付属のソフトウェアに関する所有権、知的財産権、その他全ての権利および、権限は、アクシスソフト株式会社が所有しています。
- ・ 本ガイド および、付属のソフトウェアは使用許諾契約書に記載されている内容に反して使用または複製することはできません。
- ・ 本ガイドに記載されている内容 および、付属のソフトウェアの仕様は、将来予告なく変更することがあります。
- ・ 付属のソフトウェアを運用した結果の影響について、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ・ その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- ・ 画面について
操作中に表示されている画面例は、必要な部分のみ載せています。
- ・ ヒントについて
操作方法や、設定内容に関する参考情報は、ヒントマークで表示します。
- ・ 注意について
特に注意が必要な情報については注意マークで表示します。



目次

1. 製品構成	3
1.1. Biz/PrintServer	3
1.2. PrintStream FormEditor	4
2. 動作環境	5
2.1. Biz/PrintServer の動作環境	5
2.2. PrintStream FormEditor の動作環境	5
3. インストール	6
3.1. Biz/PrintServer のインストール	6
3.2. PrintStream FormEditor のインストール	16
4. ライセンスの登録	17
4.1. Biz/PrintServer のライセンス登録	17
4.2. PrintStream FormEditor のライセンス登録	19
(1) ライセンスファイル	19
(2) ライセンスファイルの入手	19
(3) ライセンスファイルのインストール	21
5. 帳票を作成する・PrintStream FormEditor	23
5.1. 帳票の雛型をフォームウィザードで自動生成	24
5.2. 印刷プレビューの実行	33
5.3. フォーム定義の確認	34
5.4. フィールドの修正	36
5.5. Biz/PrintServer へのアップロード	47
5.6. アップロードしたフォームの確認	53
6. Internet Information Service (IIS)との連携	58
6.1. 連携モジュールのインストール	58
6.2. Windows の設定変更	63
6.3. IIS サンプルの設定	74
6.4. IIS サンプルの確認	84
7. Apache Tomcat との連携	87
7.1. JavaConnect について	87
7.2. Apache Tomcat サンプルの準備	88
7.3. Apache Tomcat サンプルの設定	89
7.4. Apache Tomcat サンプルの確認	96

1. 製品構成

Biz/PrintServer は、以下の 2 つのアプリケーションで構成されています。

- ・ Biz/PrintServer
- ・ 帳票設計ツール”PrintStream FormEditor”

1.1. Biz/PrintServer

Biz/PrintServer は、帳票システムを実現するためのさまざまな機能を持つ、統合的なサーバ環境です。

- ・ サーバ管理機能
印刷リクエストを制御する「ジョブ管理機能」、印刷イメージファイルを保持、管理する「スプール管理機能」、プリンタの状態を監視する「プリンタ管理機能」など、帳票システムに必要なサーバ管理機能を提供します。
- ・ Web サーバ機能
Web サーバとして起動し、サーバ管理機能をブラウザからリモートコントロールする機能や、他のサーバアプリケーションからの制御を行う機能を提供します。
- ・ 帳票生成機能
PrintStream 印刷モジュール、DocumentGenerator 印刷モジュールなど、さまざまな印刷形式に対応するモジュールを保持し、それらのモジュールを起動して帳票を生成する機能を提供します。EMF、PDF、PSS、ESC/P などの出力形式に対応しています。
- ・ サーバサイド印刷機能
サーバに接続されたプリンタに対して印刷を行う機能を提供します。再印刷、部分印刷、時間を指定したバッチ印刷などを実現します。
- ・ クライアントサイド印刷
印刷イメージファイルをクライアント PC にダウンロードし、クライアント側で手元印刷を行うための機能を提供します。クライアントでは、PrintStream for Internet Explorer、Biz/Browser、Adobe Reader などのツールを導入します。
- ・ アプリケーション連携機能
Biz/PrintServer の提供する API により、各種 Web アプリケーションサーバとの連携を実現します。IIS や .NET アプリケーションなどとの連携を実現する DCOM API、Java 系サーバとの連携を実現する Java Connect API があります。

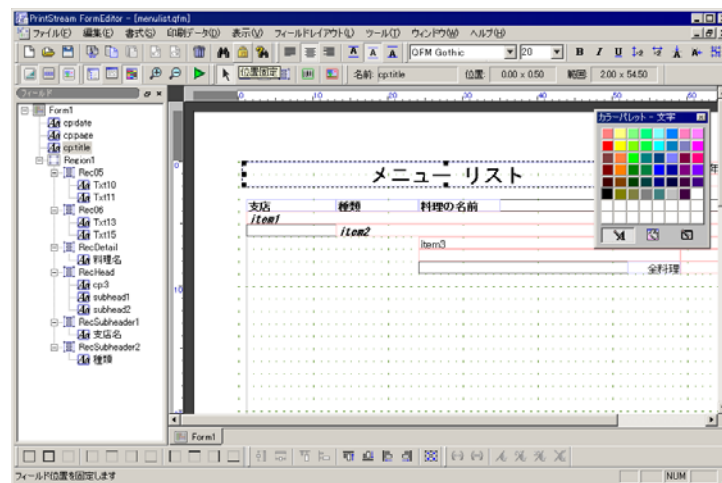
Biz/PrintServer は、Windows サーバ上でサービスとして起動します。IIS などの Web アプリケーションサーバと同一のサーバ上で構築することができます。また、負荷分散等を考慮し、帳票専用サーバとすることも可能です。

1.2. PrintStream FormEditor

帳票設計ツール PrintStream FormEditor は、Biz/PrintServer で使用する帳票フォームを作成するためのツールです。

用紙サイズ、文字の配置、バーコード、イメージの定義、印刷データの指定など、帳票設計に必要な様々な機能を提供します。

作成したフォームは、Biz/PrintServer へのアップロード機能を利用して Biz/PrintServer に登録し、システム上でフォームを呼び出して使用します。



PrintStream FormEditor

2. 動作環境

2.1. Biz/PrintServer の動作環境

Biz/PrintServer の動作する OS は、以下の通りです

- ・ Windows NT4.0 ServicePack5 以上
- ・ Windows 2000
- ・ Windows 2000 Advanced Server
- ・ Windows XP Professional
- ・ Windows Server 2003 Standard
- ・ Windows Server 2003 Enterprise

2.2. PrintStream FormEditor の動作環境

PrintStream FormEditor の動作する OS は、以下の通りです。

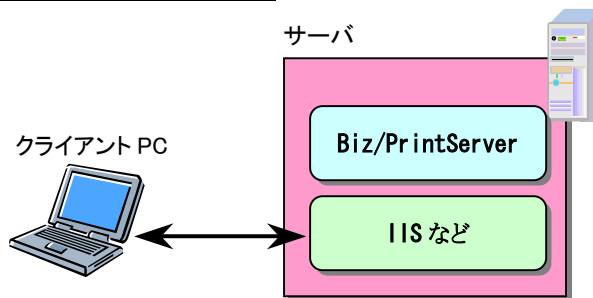
- ・ Windows 2000
- ・ Windows XP
- ・ Windows Vista

3. インストール

3.1. Biz/PrintServer のインストール

Biz/PrintServer を使用したシステムの構成は、以下の2つが考えられます。

単一のサーバ上で構築する

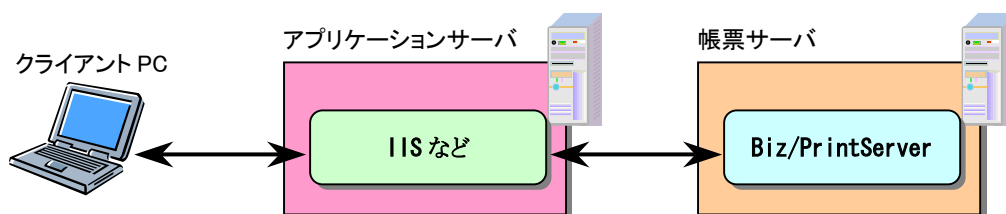


Biz/PrintServer を他のアプリケーションサーバ (IIS や Tomcat など) と同じサーバにインストールします。

この構成は、最も簡単に Biz/PrintServer を導入できます。

しかし、帳票の生成頻度が高く、負荷が高い場合に、アプリケーションサーバのレスポンスに影響を与える可能性があります。

専用の帳票サーバを構築する



Biz/PrintServer を専用の帳票サーバにインストールします。

この構成は、Biz/PrintServer を別のサーバに導入することで帳票サーバを独立させ、負荷分散を実現します。

なお、アプリケーションサーバに Windows を利用しない場合 (Linux などのサーバにする場合) は、この構成にする必要があります。

インストール前の準備

Biz/PrintServer をインストールするサーバには、最低 1 台のプリンタが登録されている必要があります。

プリンタが登録されていない場合は、プリンタを登録してください。



ここで登録するプリンタは、実際のプリンタと接続されている必要はありません。サーバにプリンタが接続されていない場合は、ダミーのプリンタを登録し、コントロールパネルのプリンタにアイコンがある状態にしてください。

インストール

Biz/PrintServer をインストールするサーバで、製品 CD-ROM の **SETUP.EXE** を実行してください。



Biz/PrintServer インストーラが起動します。「次へ」をクリックしてください。



Biz/PrintServer のインストール先を指定します。

標準のインストール先で問題ない場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を指定してください。



標準のインストール先である”AXIS Software”は、PrintStream FormEditor や他の弊社製品の標準である”AXIS SOFT”とは違います。これは、旧バージョンとの互換性のためであり、”AXIS SOFT”や他のフォルダにインストールしても問題ありません。



インストールするコンポーネントを選択します。今回は、「印刷サーバとして設定する」のチェックを付けたまま、「次へ」をクリックしてください。



「印刷サーバとして設定する」のチェックは、Biz/PrintServer のサーバ機能の有無を選択します。チェックをはずす場合については、後述の IIS との連携で説明します。



Windows のスタートメニューへの登録です。

標準の設定で問題ない場合は、「次へ」をクリックしてください。



標準の登録先である”AXIS Software”は、PrintStream FormEditor や他の弊社製品の標準である”AXIS SOFT”とは違います。これは、旧バージョンとの互換性のためであり、”AXIS SOFT”や他の名前を登録しても問題ありません。

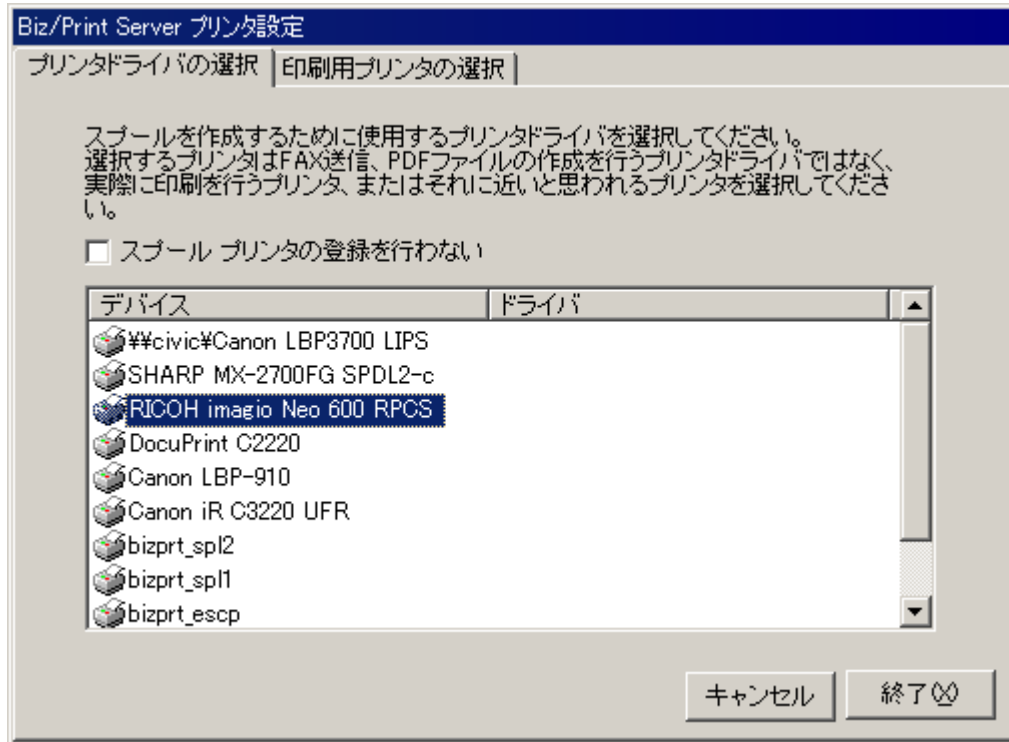


確認画面です。「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。

インストールが完了すると、Windows の再起動を確認するダイアログが表示されます。

「OK」ボタンを押して、Windows を再起動してください。

Windows が再起動すると、以下の画面が自動的に起動します。

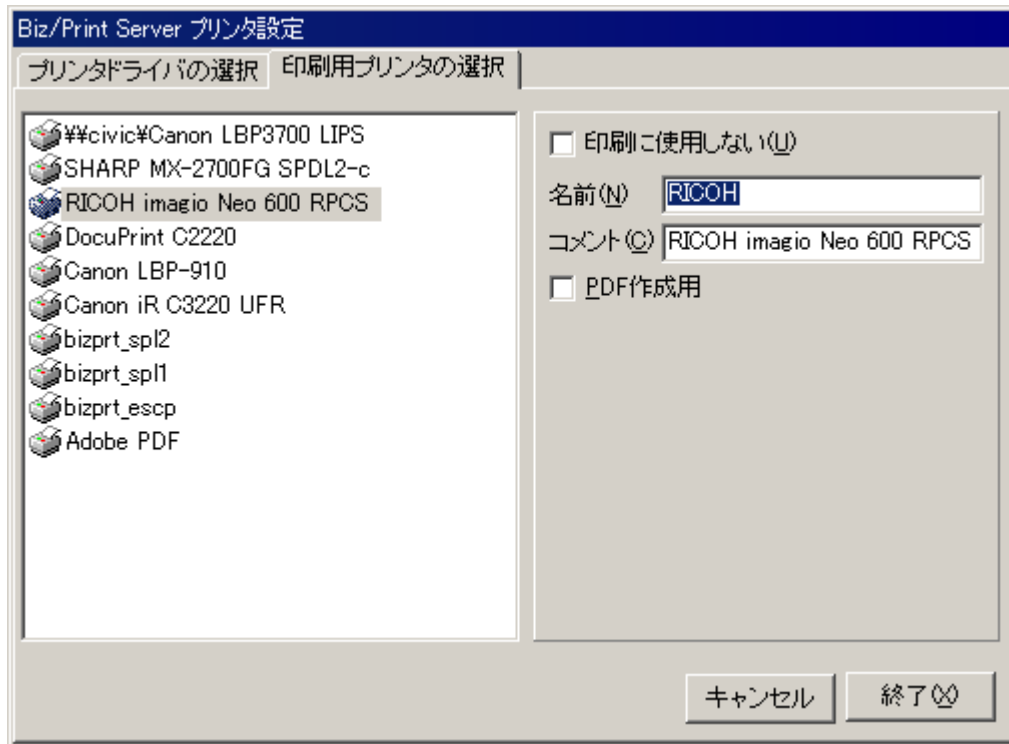


「プリンタドライバの選択」タブでは、任意のプリンタを選択してください。



ここで選択したプリンタは、Biz/PrintServer が帳票を EMF ファイルを生成する際に参照するプリンタになります。

次に、「印刷用プリンタの選択」タブをクリックします。



左側のリストから、Biz/PrintServer で使用するプリンタを選択してください。

次に、右側の「印刷に使用しない」チェックをはずし、「名前」欄に Biz/PrintServer 上で管理する名前を入力してください。



ここで設定したプリンタは、Biz/PrintServer のプリンタ管理に登録され、サーバサイド印刷時の対象プリンタとなります。



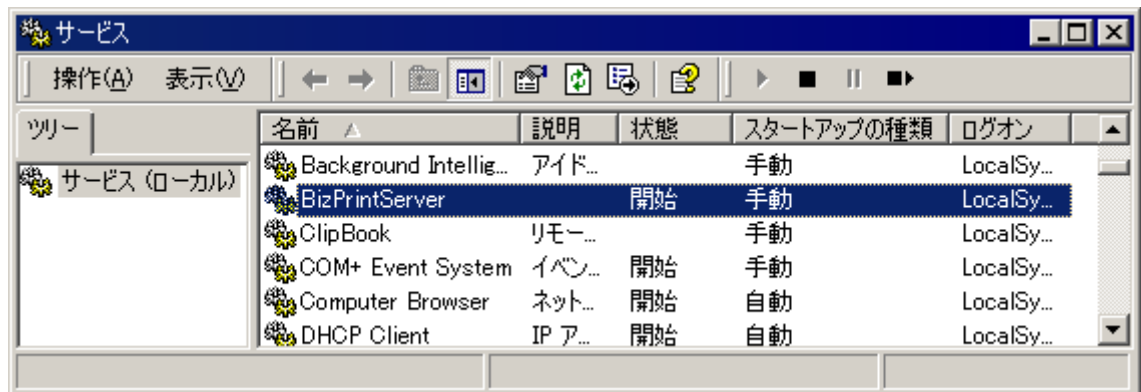
「名前」欄に入力する名前にスペースを含むと正しく動作しません。また、名前は英数字のみで簡潔な名前を設定することをお勧めします。



「PDF 作成用」のチェックは、Adobe Distiller を利用した PDF 生成のためのものです。Biz/PrintServer の PDF 生成機能である DocumentGenerator を使用する場合は、チェックをしないでください。

「終了」をクリックするとインストールは完了です。

Windows のコントロールパネルから「管理ツール」→「サービス」を開き、**BizPrintServer** のサービスを開始してください。



Biz/PrintServer のサービスは、インストール直後はスタートアップの種類が「手動」になっています。「自動」に設定することで、サーバ起動時に自動的にサービスを開始することができます。

Biz/PrintServer の動作を確認します。

Internet Explorer を開き、URL に「**http://localhost:8088/**」と入力してください。

以下の画面が表示されれば、インストールは完了です。

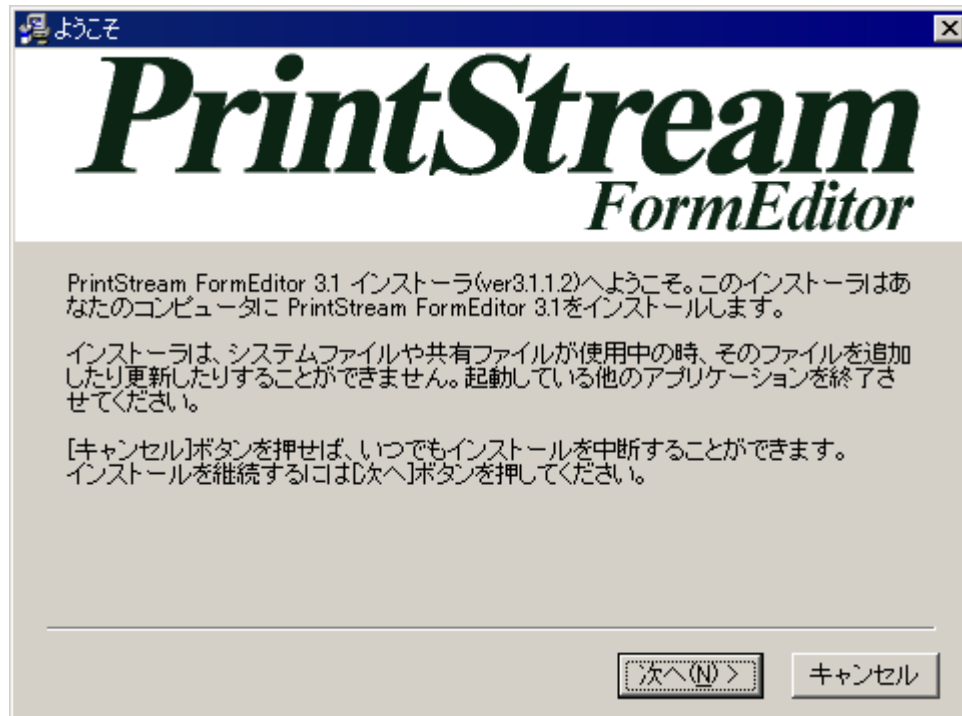


ポート番号 8088 は、Biz/PrintServer の内蔵 Web サーバが標準で使用するポート番号です。
この画面は、Biz/PrintServer の各種設定などで使用します。

3.2. PrintStream FormEditor のインストール

PrintStream FormEditor は開発者の PC にインストールします。

製品 CD-ROM の”PrintStream FormEditor”フォルダにある **setup.exe** を実行してください。



PrintStream FormEditor のインストールでは、特に注意する点はありません。

インストーラの指示に従い、PrintStream FormEditor のインストールを行ってください。



PrintStream FormEditor は、帳票サーバにインストールする必要はありません。

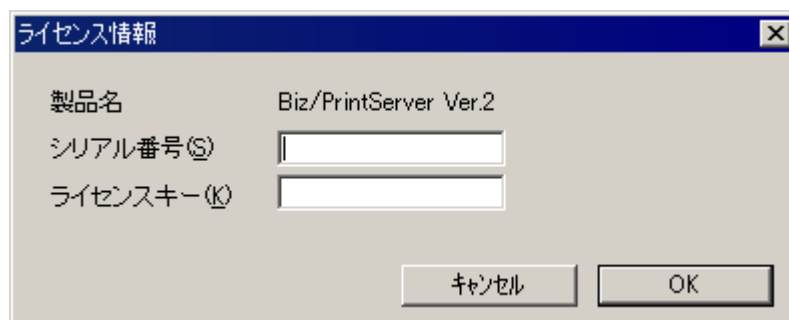
4. ライセンスの登録

4.1. Biz/PrintServer のライセンス登録

Windows のスタートメニューから、「Biz-Collections ライセンスマネージャ」を起動してください。



「Biz/PrintServer Ver.2」を選択し、「新しいライセンスを登録」をクリックしてください。



製品購入時に取得したシリアル番号とライセンスキーを入力し、「OK」をクリックしてください。



ライセンスが正しく登録されると、行が青色に変わります。
 その他にも購入したライセンスがある場合は、同様に登録をしてください。



Biz/PrintServer のライセンスを登録していない場合は、出力した帳票に「Sample」の文字が印刷されます。

4.2. PrintStream FormEditor のライセンス登録

(1) ライセンスファイル

ライセンスファイルをインストールすることでライセンス認証が行われます。ライセンスファイルには使用するマシンの固有情報が埋め込まれており、他のマシンにコピーしても使用することはできません。

(2) ライセンスファイルの入手

以下の情報をアクシスソフトまでご連絡ください。

- ・ ご利用製品名 (PrintStream FormEditor)
- ・ 製品シリアル番号
- ・ ご利用先会社名
- ・ ご利用先会社名英語表記
- ・ PrintStream FormEditor ご利用者氏名
- ・ PrintStream FormEditor ご利用者氏名英語表記
- ・ ライセンスリクエストコード (詳細は後述)
- ・ 使用ライセンス (XML ファイル) の送信先
(ご依頼者と異なる場合にご記入ください)

メールアドレス : license@axissoft.co.jp

通常、申請いただいた日を除く3営業日後にライセンスファイルを発行いたします。

ライセンス発行の際、使用マシンのライセンスリクエストコードが必要になります。

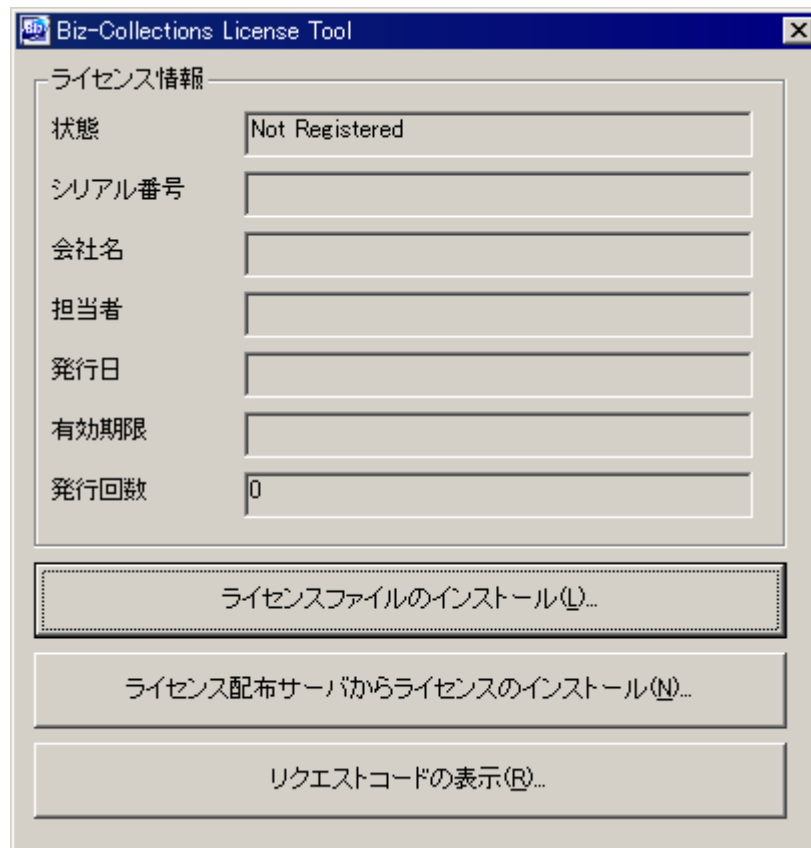
PrintStream FormEditor をインストールした PC で、Windows のスタートメニューから「License Tool」を起動してください。



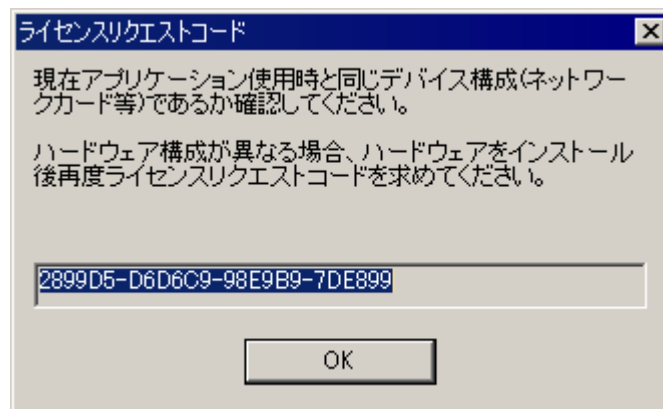
PrintStream FormEditor のバージョン 3.1 (Biz/PrintServer バージョン 2.5.5 以降) から、ライセンスの登録方法が変更されました。



ライセンスを登録していない場合は、PrintStream FormEditor の起動回数が 30 回までに制限されます。



「リクエストコードの表示」ボタンを押すと以下のようなダイアログが表示されます。

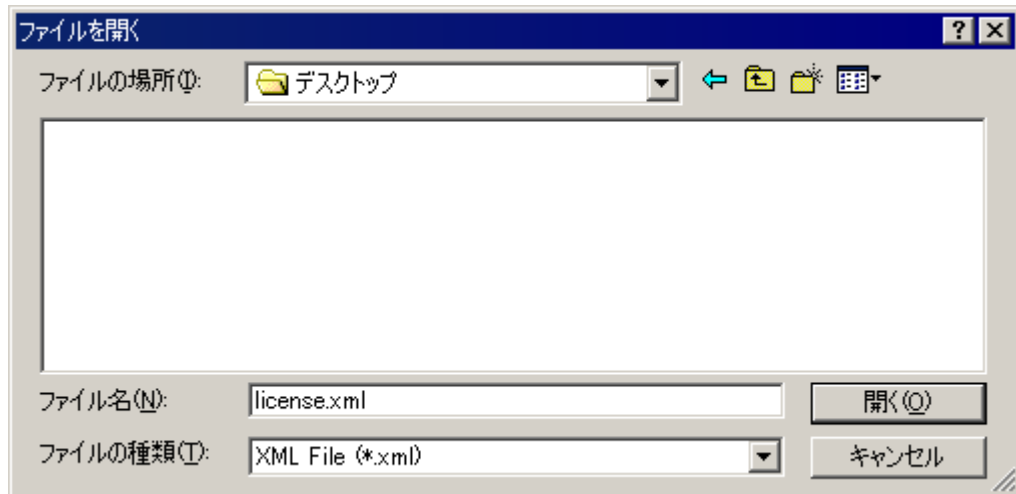


テキストボックスに表示された 24 桁のコードがライセンスリクエストコードとなります。

(3) ライセンスファイルのインストール

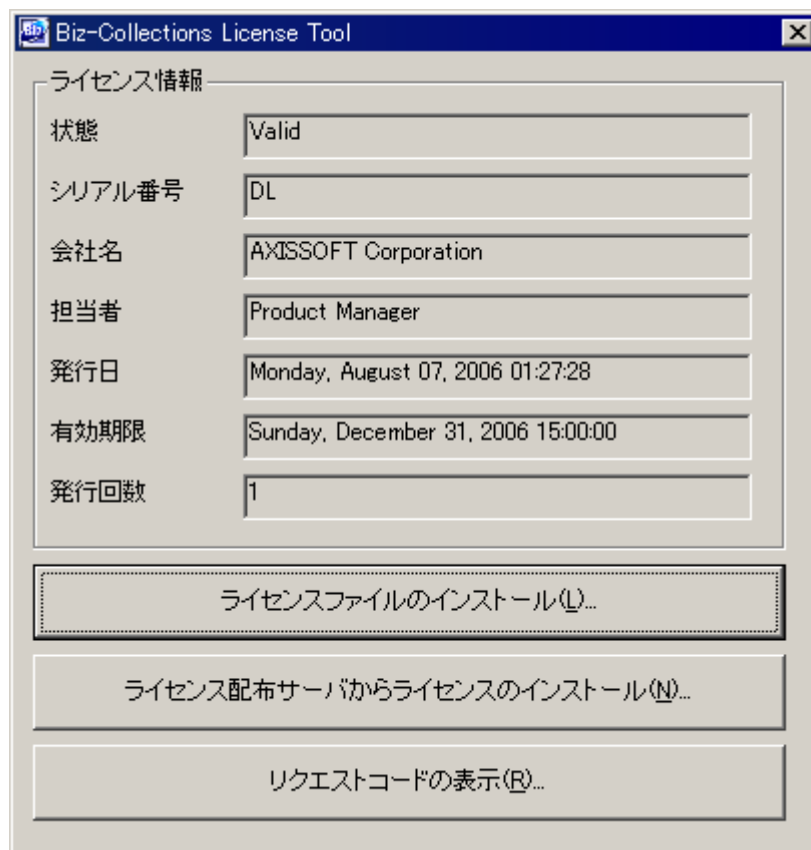
発行されたライセンスファイルを任意のフォルダに用意します。

「**License Tool**」を起動し、「ライセンスファイルのインストール」ボタンを押下するとファイルダイアログが表示されます。



用意したライセンスファイルを指定し「開く」ボタンを押します。

インストールが成功すればダイアログは閉じ、インストールされたライセンス情報が表示されます。

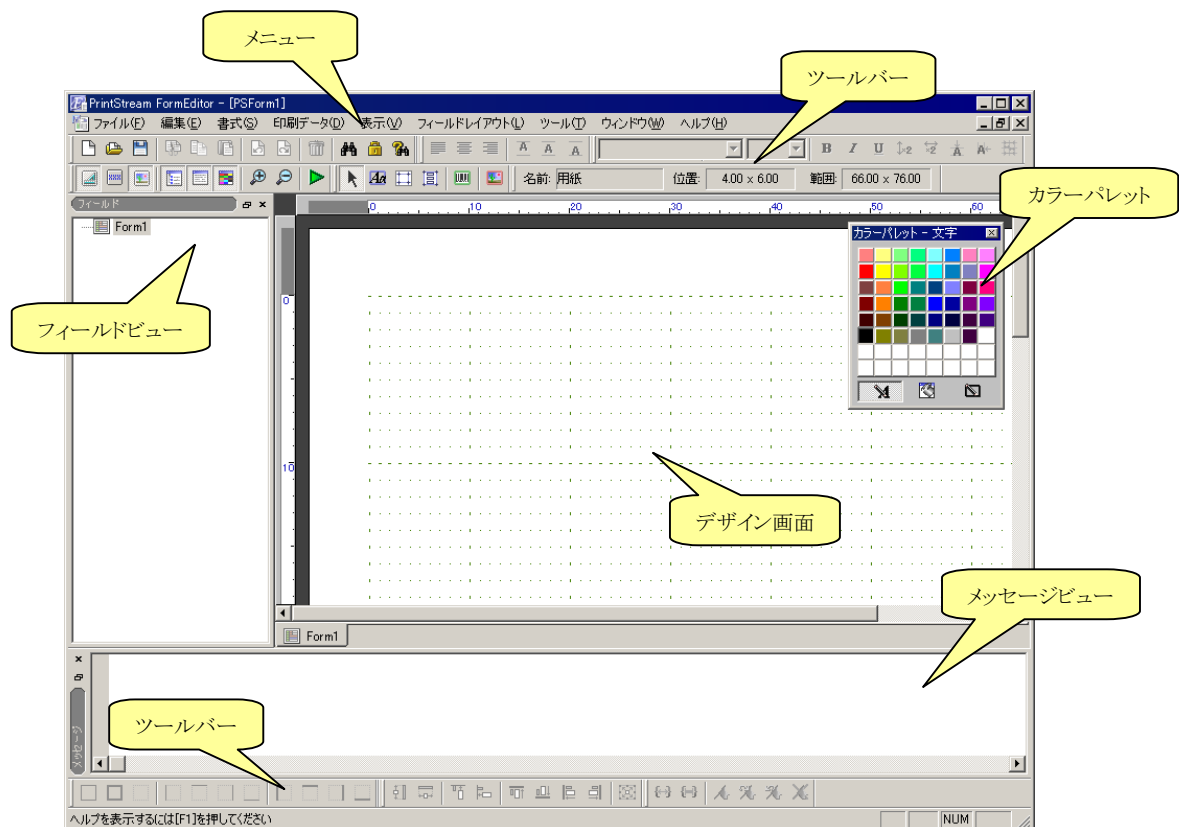


5. 帳票を作成する – PrintStream FormEditor –

PrintStream FormEditor を使用して、簡単な帳票を作成する手順を説明します。

Windows のスタートメニューから PrintStream FormEditor を起動してください。

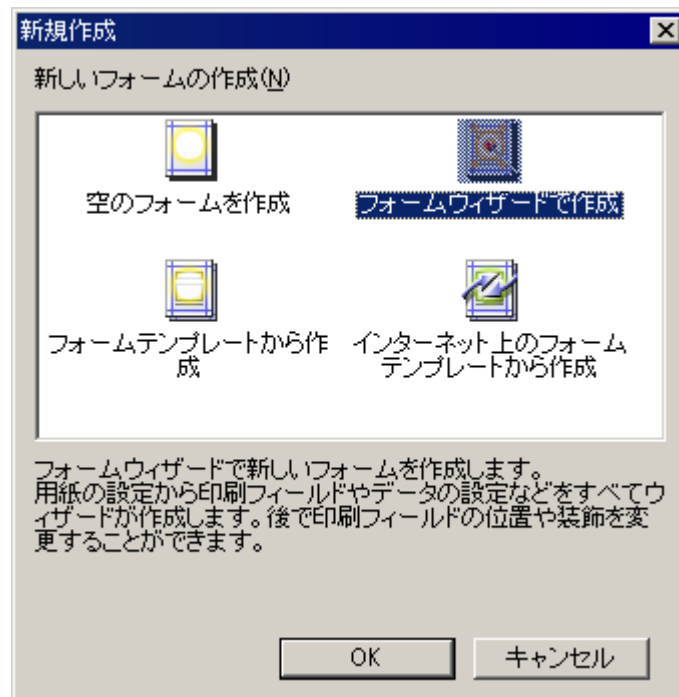
PrintStream FormEditor



5.1. 帳票の雛型をフォームウィザードで自動生成

最も簡単な帳票設計の方法として、フォームウィザードを利用した自動生成があります。

1. メニューの「ファイル」→「新規作成」を選択してください。



新規作成ダイアログ

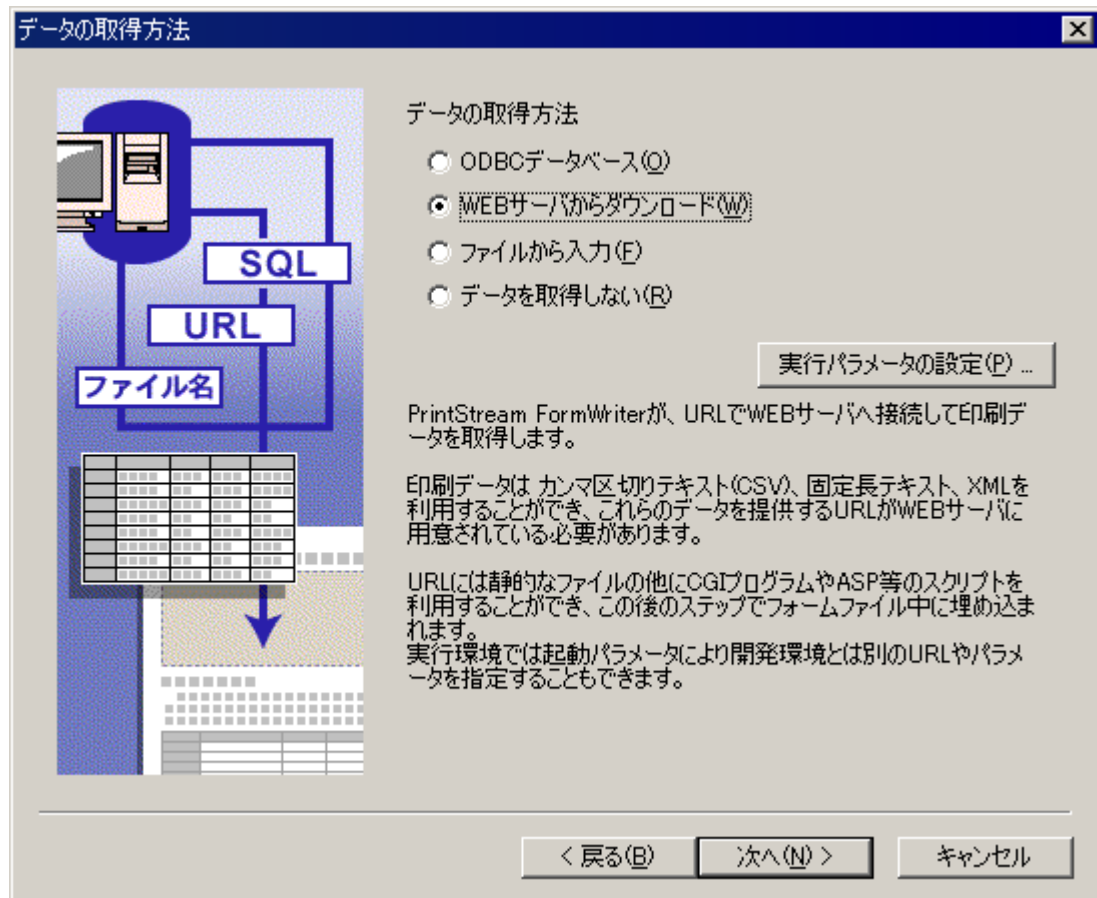
2. 「フォームウィザードで作成」を選択して、「OK」をクリックします。

用紙の指定ダイアログ

3. 用紙の指定ダイアログでは、帳票のタイトルや用紙サイズ、用紙の向きなど、帳票の基本的な情報を指定します。ここでは、タイトルに「メニューリスト」と入力し、その他の項目は変更せずに「次へ」をクリックします。



用紙の設定は、ウィザード終了後も変更することが可能です。
ページのプロパティで同様の設定ができます。



データの取得方法ダイアログ

4. データの取得方法ダイアログでは、帳票生成時に使用する印刷データの取得先を指定します。ODBC 接続されたデータベース、Web サーバ上に配置されたファイル、ローカルファイルの3種類を選択できます。ここでは、「Web サーバからダウンロード」を選択して、「次へ」をクリックします。



ODBC データベースについては、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「印刷データ」→「ODBC データベースの利用」に詳しく記載されています。



ダウンロード先指定ダイアログ

- ダウンロード先指定ダイアログでは、印刷データを取得する URL を指定します。ここでは、Biz/PrintServer の Web サーバ機能から csv ファイルを取得します。URL に **http://<サーバ名>:8088/bps/sampleddata/menu.csv** を入力して「次へ」をクリックします。



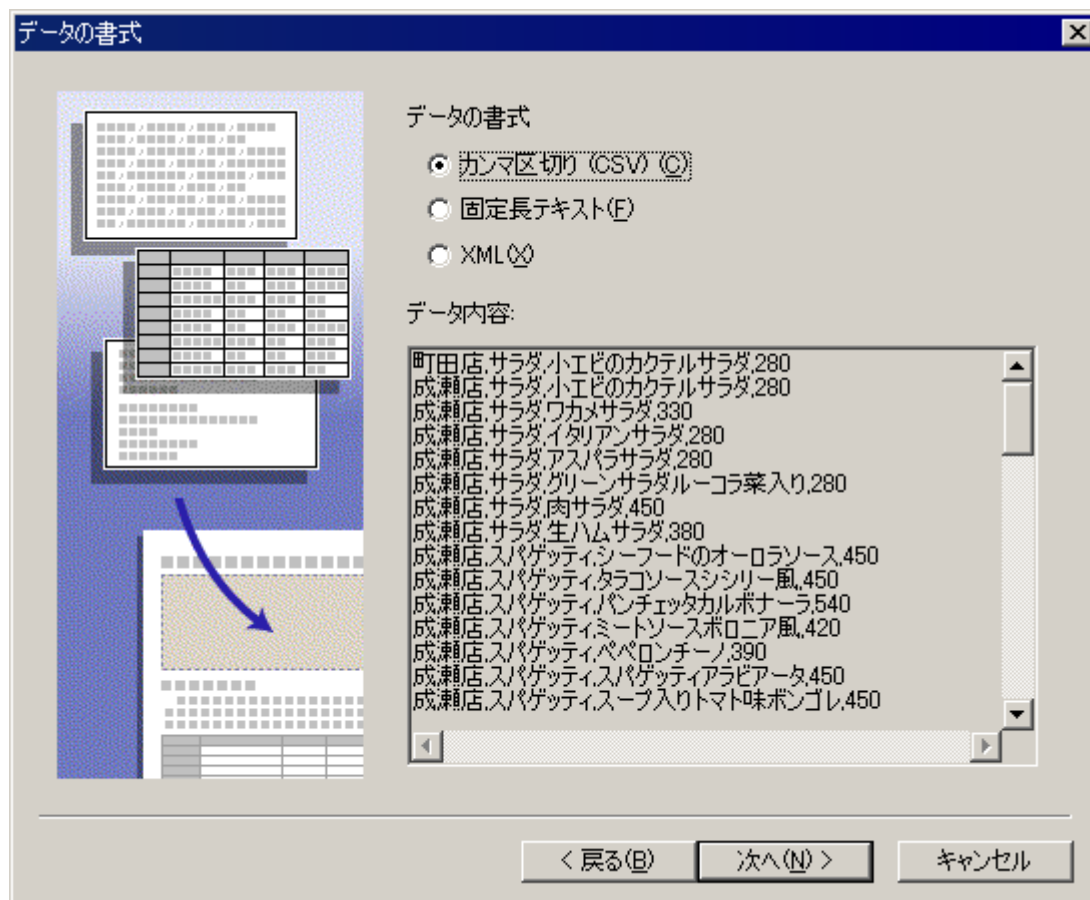
「接続確認」をクリックすると、指定された URL に接続してデータを取得するテストができます。



エラーが表示される場合は、Biz/PrintServer のサービスが起動していない可能性があります。サーバ上でサービスの確認をしてください。



PrintStream FormEditor を Biz/PrintServer と同じ PC 上で利用している場合は、http://localhost:8088 でアクセスできます。

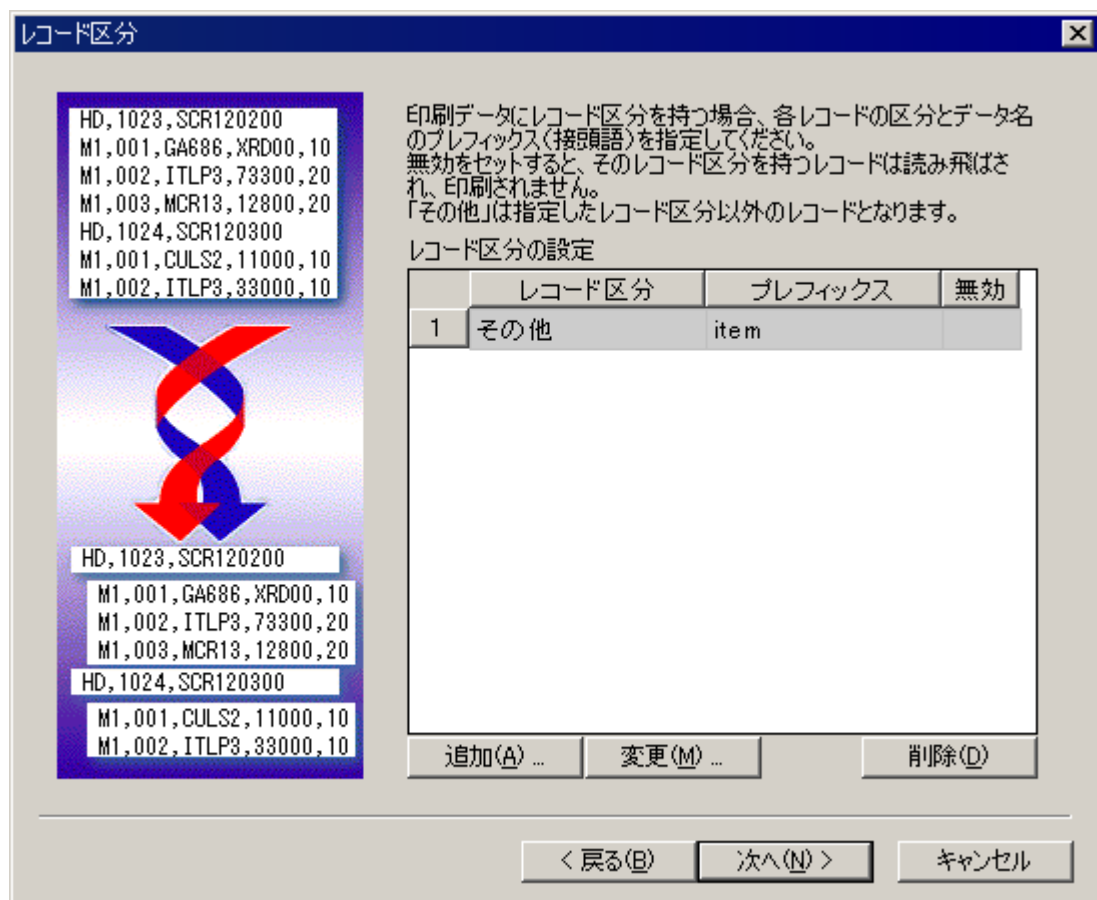


データの書式ダイアログ

6. データの書式ダイアログでは、データ形式を選択します。CSV、固定長テキスト、XML の3種類のデータ形式が選択できます。データ内容には、前ダイアログで選択したファイルの内容が表示されます。ここでは、「カンマ区切り (CSV)」を選択し、「次へ」をクリックします。



固定長テキストや XML については、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「印刷データ」→「固定長テキスト」「XML」に詳しく記載されています。



レコード区分ダイアログ

7. レコード区分ダイアログでは、データ行(レコード)の先頭文字列によってレコードを区分したい場合に、レコード区分とプレフィックスを指定します。ここでは、特に何も指定せずに「次へ」をクリックします。



レコード区分については、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「印刷データ」→「カンマ区切り(CSV)」に詳しく記載されています。



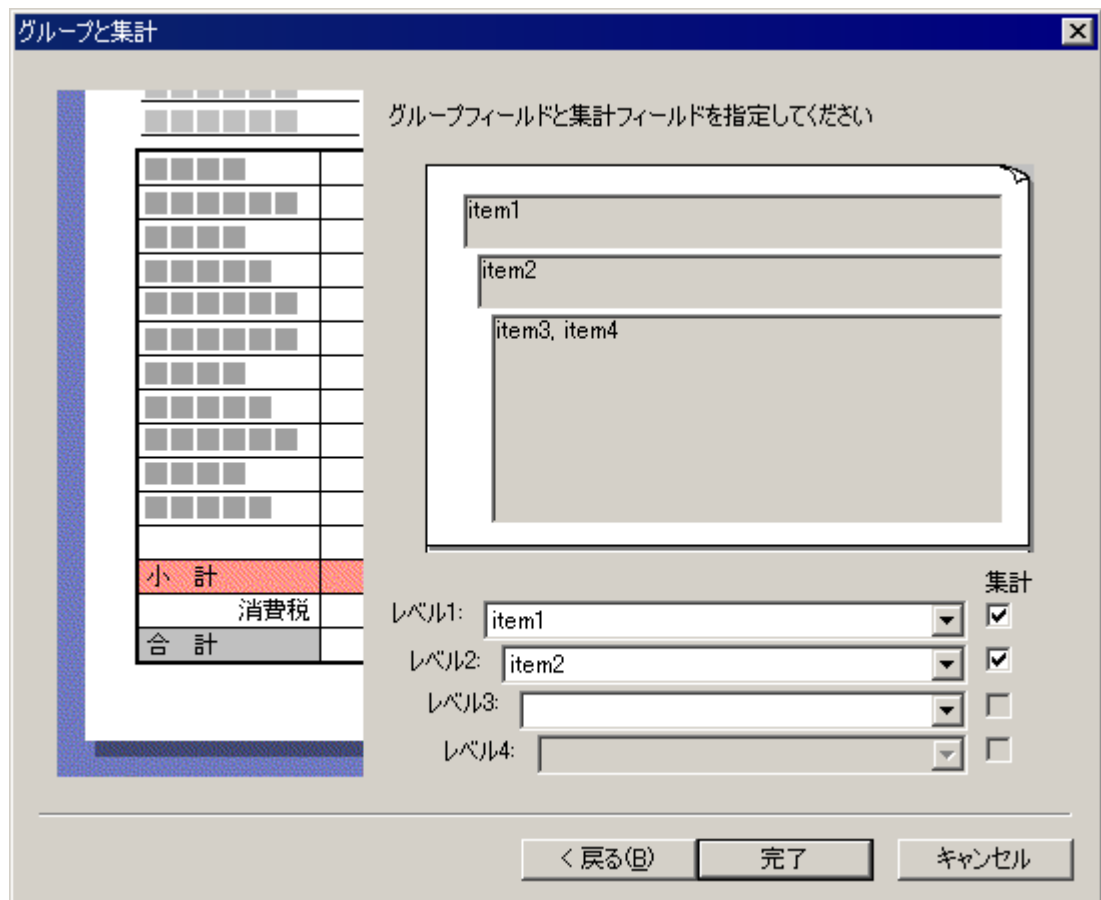
印刷データの対応ダイアログ

8. 印刷データの対応ダイアログでは、データ行の各列(カラム)のうち、どの列を帳票に割り当てるかを選択します。前ダイアログでレコード区分を指定していない場合、列名は先頭から”item1”、”item2”、・・・というような名前になります。ここでは、「全選択」をクリックして全ての列を指定し、「次へ」をクリックします。



印刷データの対応は、ウィザード完了後も変更することが可能です。

メニュー「印刷データ」→「印刷データの割り当て」



グループと集計ダイアログ

9. グループと集計ダイアログでは、データ行の指定列でグループ化する設定を行います。最大で4レベルまで指定することができます。レベル1に“item1”を、レベル2に“item2”を選択し、どちらにも「集計」をチェックして、「完了」をクリックします。



グループと集計については、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「印刷データ」→「印刷データのグループ化と集計」や、「PrintStream チュートリアル」→「グループ」に詳しく記載されています。

10. 以上の手順で、帳票の雛型が自動的に作成されます。メニューの「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択して、フォームを保存してください。

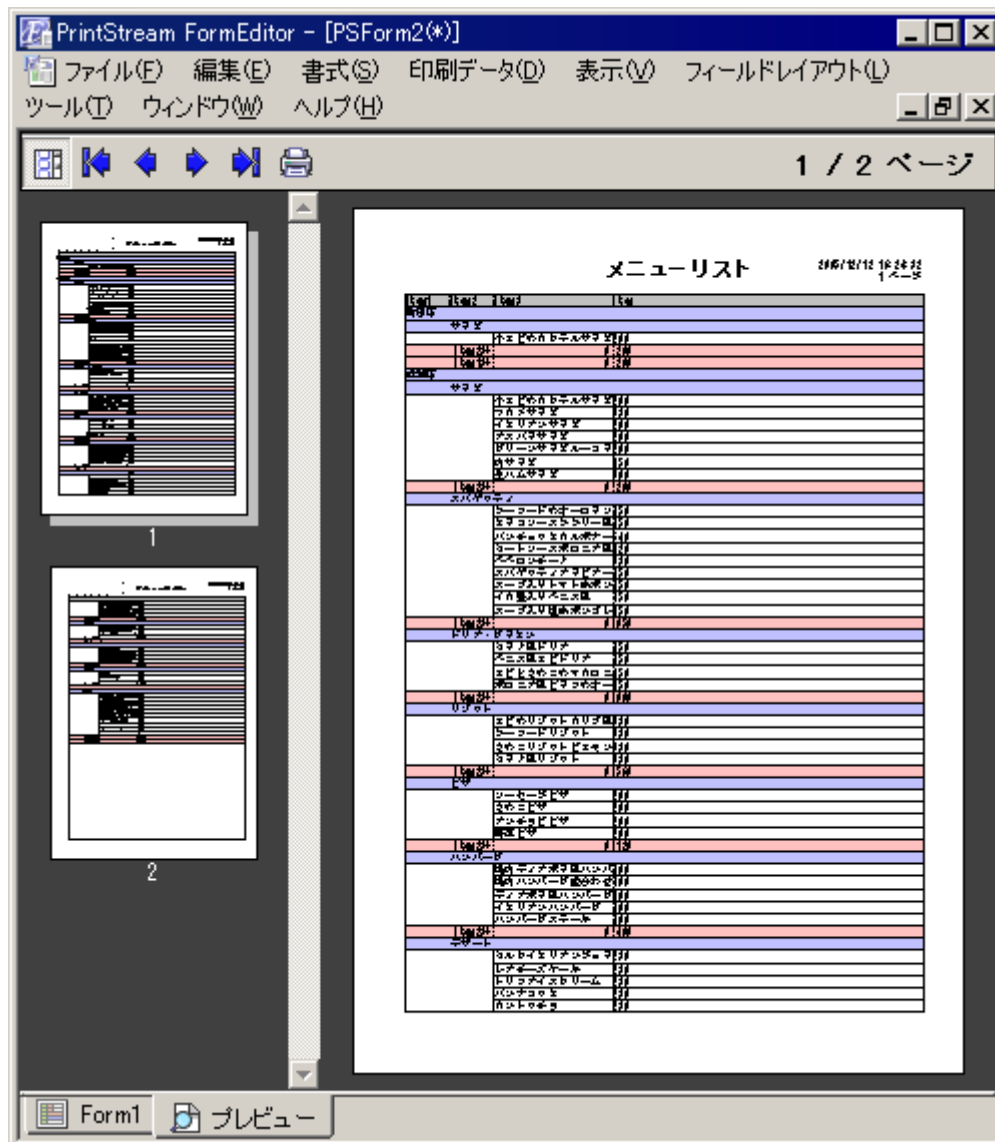


フォームの変更作業中は、「Ctrl+S」やツールバーの  ボタン(上書き保存)を押して、こまめに保存してください。

5.2. 印刷プレビューの実行

作成したフォームを印刷プレビューで確認します。

1. ツールバーの  ボタン(テスト実行)をクリックしてください。



印刷プレビュー画面

2. 印刷プレビューが 2 ページ分表示されます。   ボタンで拡大／縮小、   ボタンでページの変更が可能です。印刷プレビューの内容を確認してください。



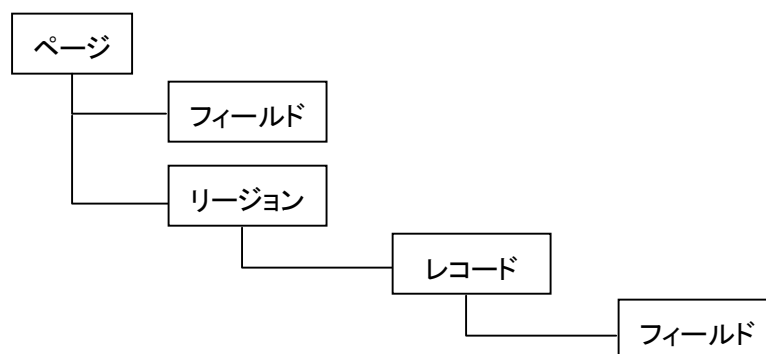
印刷プレビューのショートカットは「F5」キーです。

5.3. フォーム定義の確認

PrintStream には、様々な役割を持ったオブジェクトがあり、階層的に管理されています。

ページ	紙の大きさや向き、余白などを定義します。
リージョン	レコードの印刷可能領域を定義します。
レコード	データ 1 行に対応した印刷レコードです。
フィールド	印刷データを表示する領域です。
テキストフィールド	テキストデータを表示するフィールドです。
イメージフィールド	画像ファイルを表示するフィールドです。
バーコードフィールド	バーコードを表示するフィールドです。

各オブジェクトの階層構造は、下記ルールによって定義されます。ルール外の階層には定義できません。

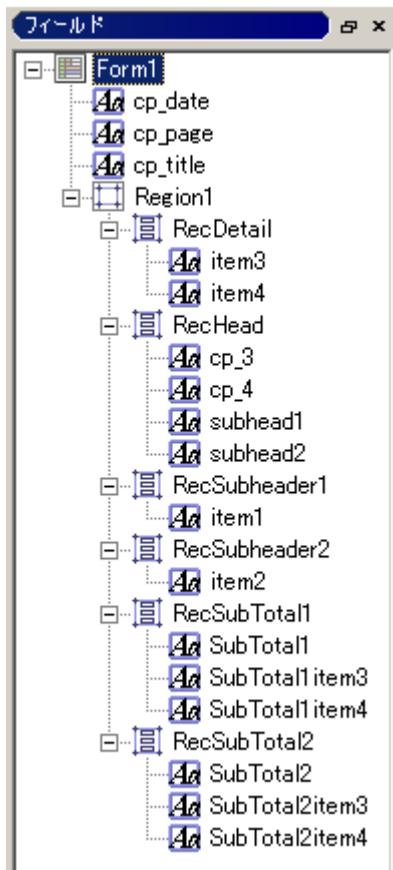


- ・ フィールドは、ページの下またはレコードの下に配置できます。
- ・ リージョンは、ページの下にのみ配置できます。
- ・ レコードは、リージョンの下にのみ配置できます。
- ・ ページの下にレコードは配置できません。
- ・ リージョンの下にフィールドは配置できません。

作成したフォームで確認しましょう。

(画面がプレビューになっている場合は、左下の「Form1」タブをクリックして、設計画面に戻ってください。)

画面左側の「フィールドビュー」を確認してください。



Form1 はページです。

Form1 の下には、cp_date、cp_page などのテキストフィールドがあります。これらはページ直下のフィールドです。

また、Form1 の下には Region1 というリージョンがあります。

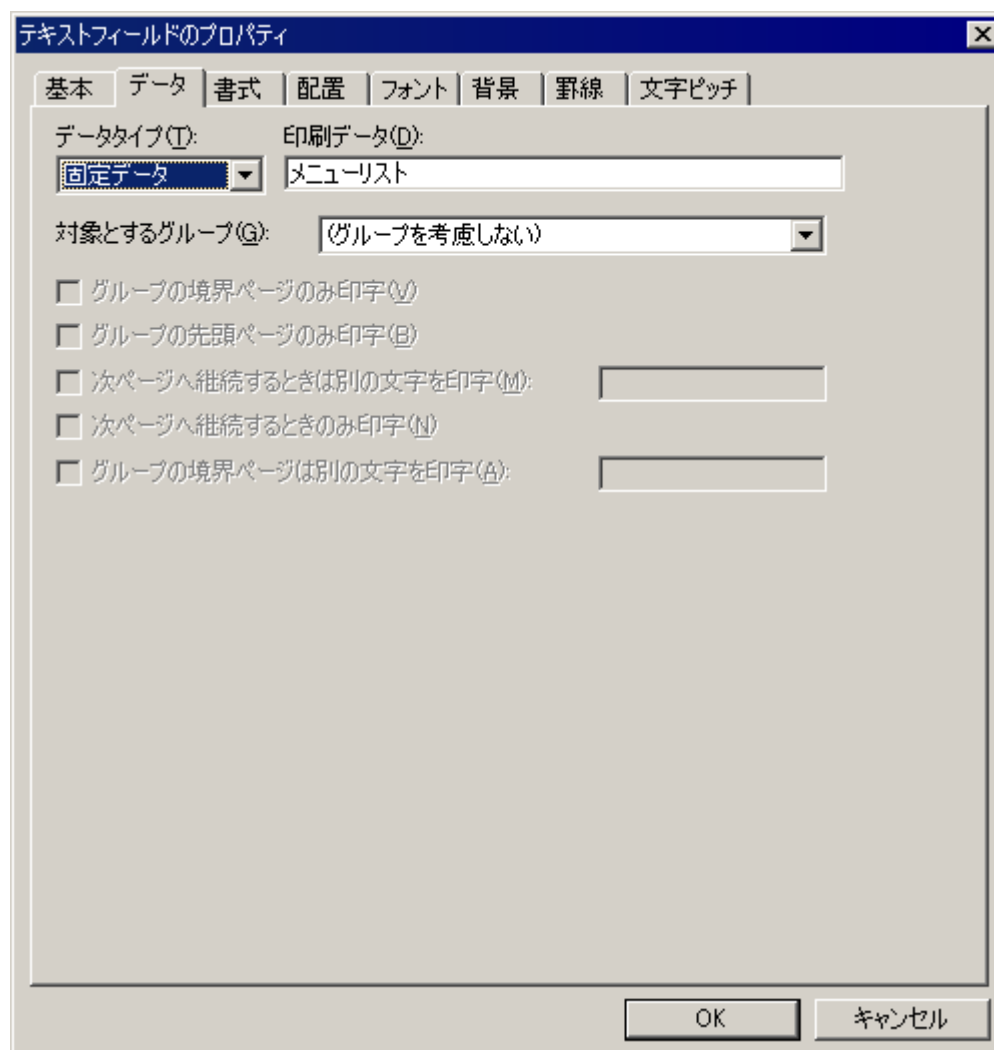
Region1の下には RecDetail、RecHead などのレコードがあります。

RecDetail の下には、item3、item4 のテキストフィールドがあります。

5.4. フィールドの修正

フィールドには、罫線、背景、フォントなどを設定するための様々なプロパティがあります。

1. 「メニューリスト」と表示されているフィールド(ep_title)を選択し、右クリックして「プロパティ」を選択してください。次に、開いたダイアログの「データ」タブをクリックしてください。



フィールドに割り当てるデータの設定を行います。

「固定データ」の場合は、印刷データ欄に表示するデータを直接入力します。

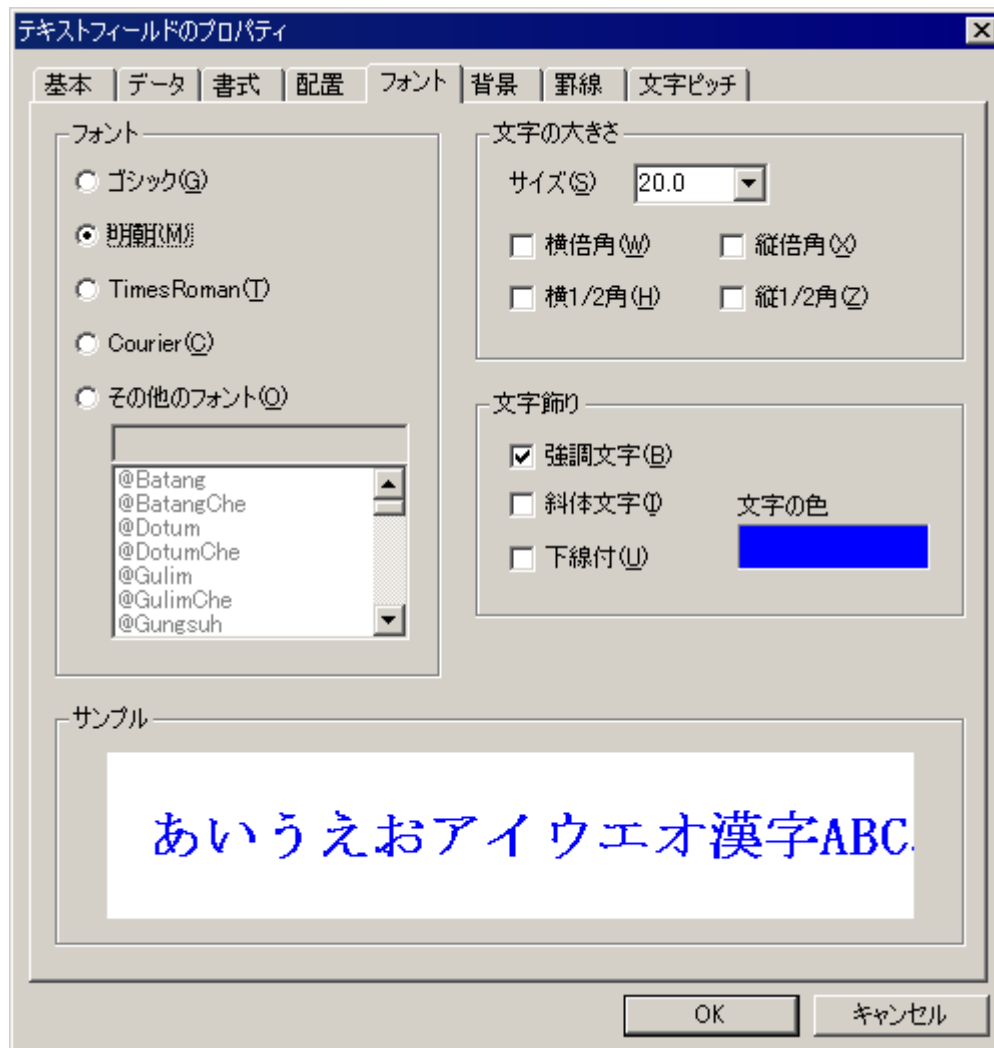


プロパティは、フィールドのダブルクリックでも開きます。



データタイプ「固定データ」は、フィールドを選択して F2 キーを押すと直接編集できます。

次に、「フォント」タブをクリックします。



フィールドのフォント名やフォントサイズ、文字飾りを設定します。

フォント「明朝」を選択し、「文字の色」をクリックして青色を選択してください。



フォントはツールバーでも簡単に変更できます。

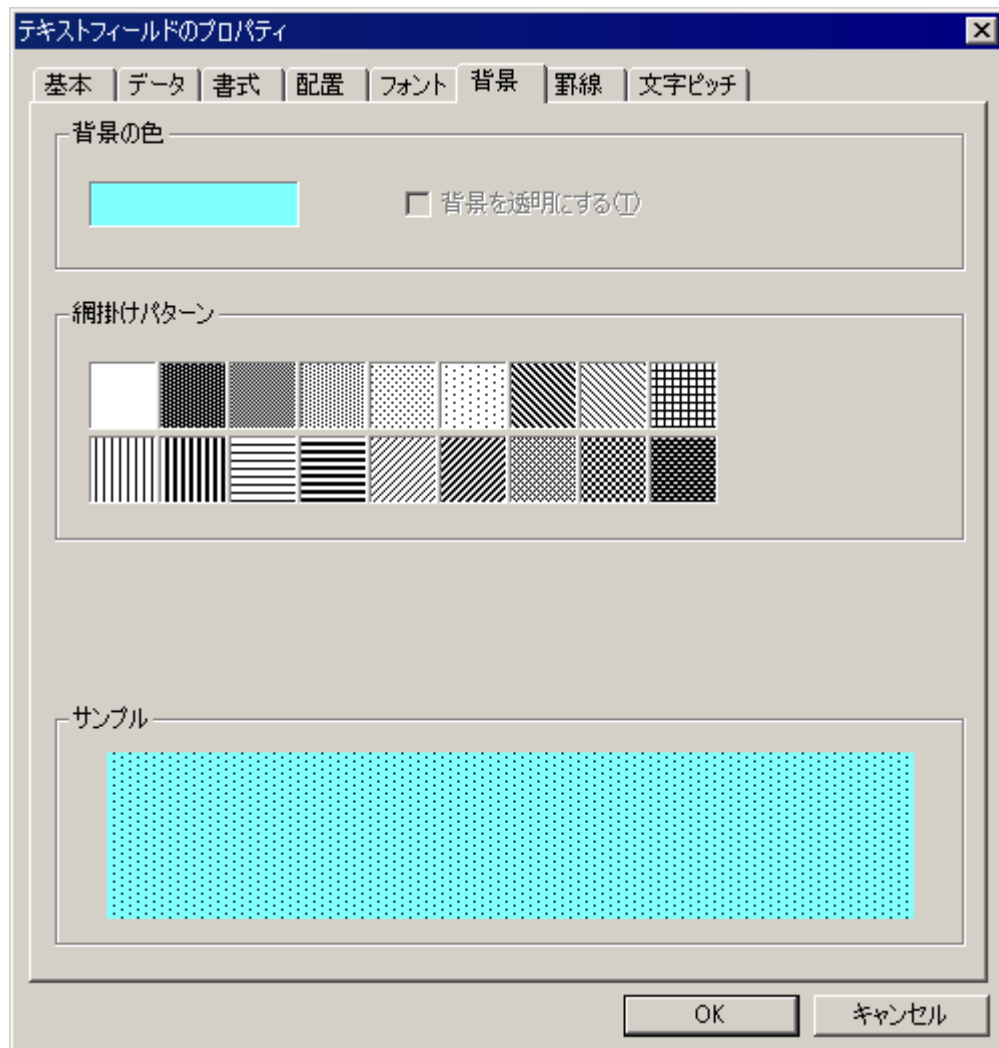


フォント名「ゴシック」「明朝」「TimesRoman」「Courier」は、ツールバー上ではそれぞれ「QFM Gothic」「QFM Mincyo」「QFM TimesRoman」「QFM Courier」という名称になります。



PrintStream では、「ゴシック」「明朝」「TimesRoman」「Courier」のフォント処理を最適化しています。フォントの種類に制約のない帳票では、これらを利用することをお勧めします。

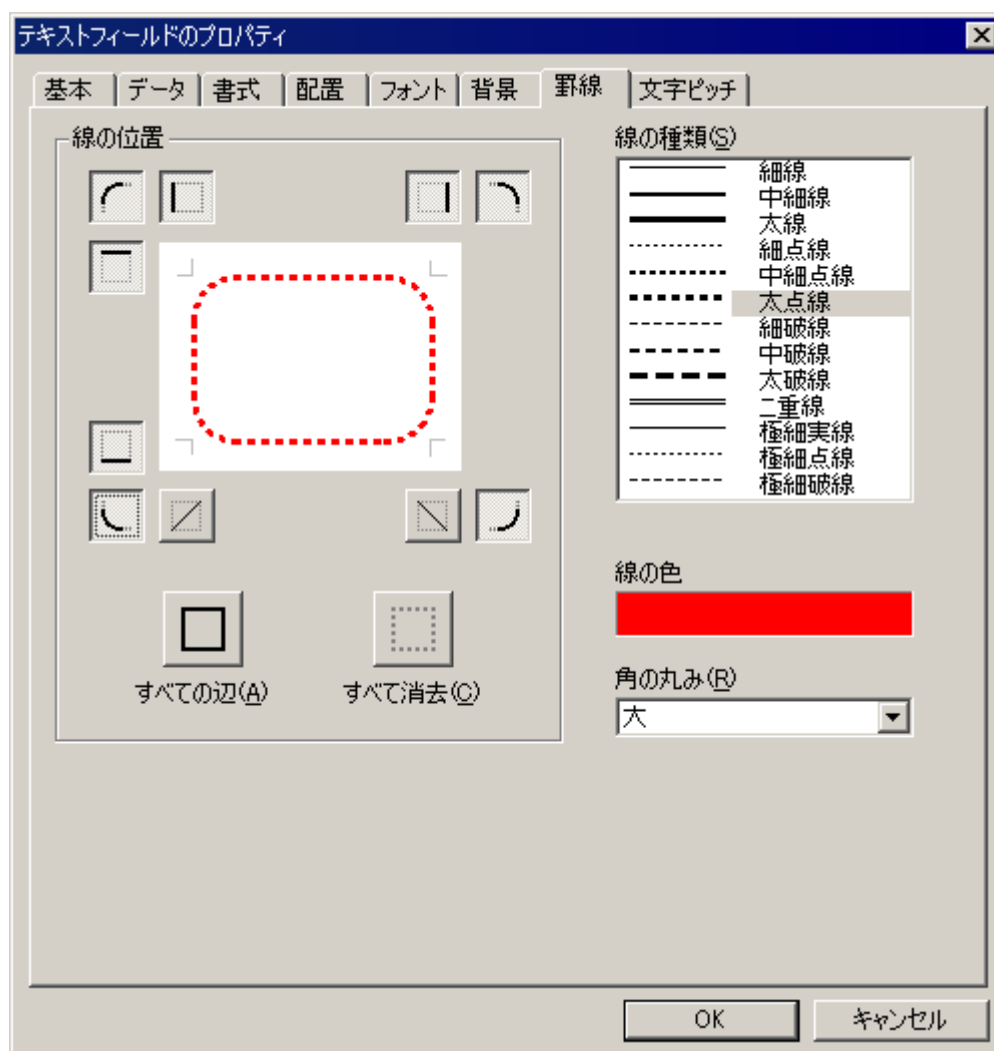
次に、「背景」タブをクリックします。



フィールドの背景色や網掛けパターンを設定します。

「背景の色」をクリックして水色を選択してください。網掛けパターンをクリックすると、指定した網掛けを設定することができます。

次に、「罫線」タブをクリックします。



フィールドの罫線の種類や色、角の丸みを設定します。

罫線の種類は辺ごと、角の丸みは角ごとに設定できます。

線の種類で「太点線」を選択し、「すべての辺」ボタンをクリックしてください。

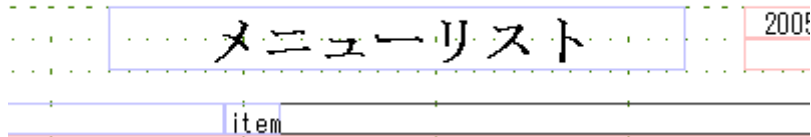
次に「線の色」をクリックして赤色を選択してください。

最後に**角の丸み**から「大」を選択し、各角のボタンをクリックしてください。



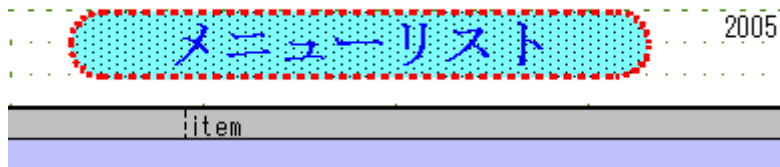
細線、中細線に限り、ツールバーでも簡単に変更できます。

ここまで設定したら、下の「OK」ボタンをクリックしてください。



設定した結果が反映されます。

ツールバーの  ボタン(デザイン枠表示)を解除すると、印刷イメージに近い形で見ることができます。



デザイン枠表示は、フィールドの枠を見やすくする機能で、標準では ON になっています。

2. 次に、RecDetail レコードの下にある「**item4**」という名前のフィールドのプロパティを開き、「データ」タブをクリックしてください。

テキストフィールドのプロパティ

基本 データ 書式 配置 フォント 背景 罫線 文字ピッチ

データタイプ(T): 印刷データ(D):

データ項目 item4

☐ 連続する同一データは表示しない(S)

種類	名前
印刷データ	item1
印刷データ	item2
印刷データ	item3
印刷データ	item4

OK キャンセル

このフィールドのデータタイプは「データ項目」となっていて、印刷データには「**item4**」が設定されています。これは、CSV ファイルの 4 列目のデータを表示するという意味になります。



ウィザードで作成したフォームでは、フィールド名も「item4」になりますが、フィールド名は印刷データとは関係ありません。



データタイプが「データ項目」のフィールドを F2 キーで直接編集すると、データタイプ「固定データ」に変更されるので注意してください。

次に、「書式」タブをクリックします。

テキストフィールドのプロパティ

基本 | データ | 書式 | 配置 | フォント | 背景 | 罫線 | 文字ピッチ

表示形式

属性(T): 数値

編集文字列(E): L999,990

編集文字	説明
@	デフォルトの書式で指定位置に表示する
9	9を記述した数は桁数を示し、先行0は空白となる
0	0を記述した数は桁数を示し、先行0は0となる
" "	" "(空白)を記述した数は桁数を示し、先行0は空白文字となる
\$	先頭に\$マークを付加する
M1	負数の場合、指定位置(右か左)に-(マイナス)記号を表示する
M2	負数の場合、指定位置(右か左)に▲記号を表示する
M3	負数の場合、指定位置(右か左)に△記号を表示する
S	指定位置(右か左)に符号を表示する
S2	指定位置(右か左)に符号を記号表示(+:△/-:▲)
D	指定の位置に小数点を表示する

サンプル

12345.678 ¥12,345

OK キャンセル

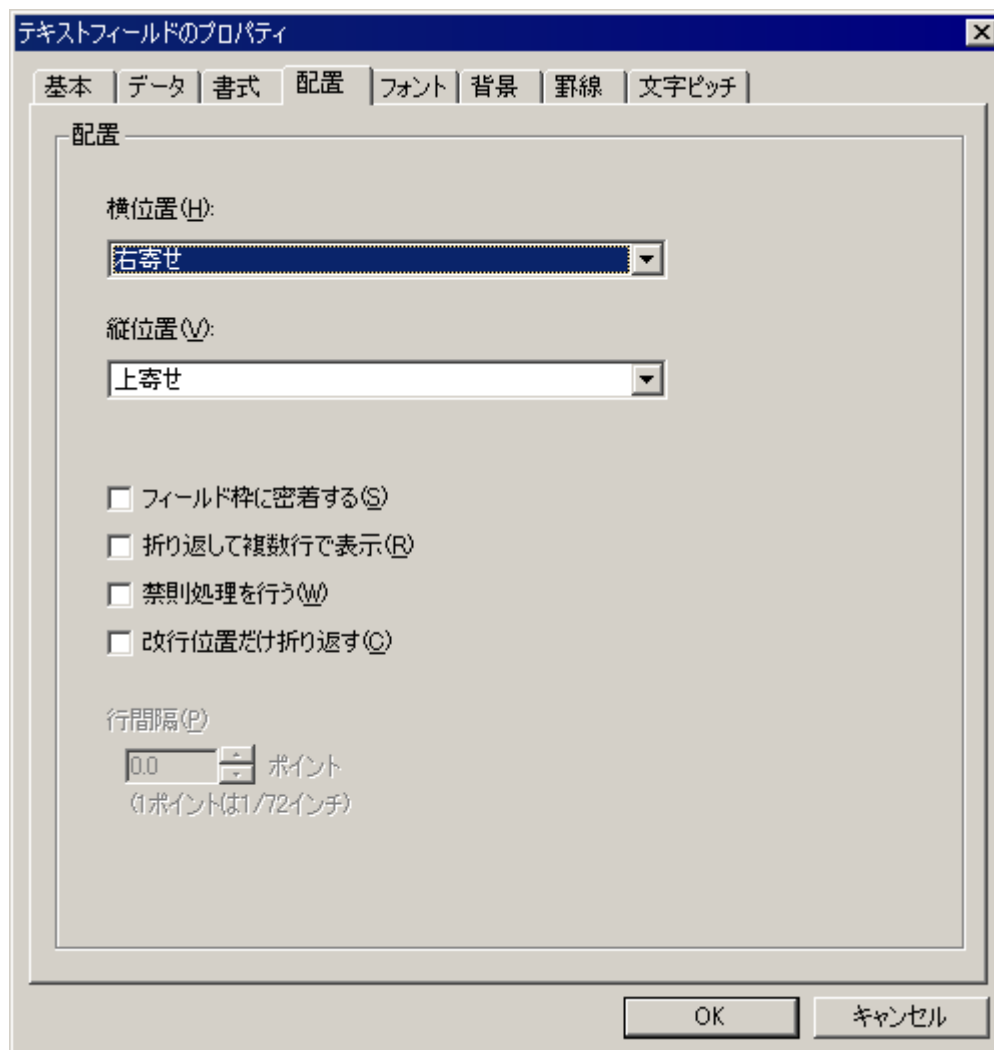
データの書式を設定します。

属性を「数値」に変更し、編集文字列に「L999,990」を入力してください。



書式については、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「PrintStream 帳票」→「テキストフィールド」に詳しく記載されています。

次に、「配置」タブをクリックします。



データの配置方法を設定します。

横位置を「右寄せ」に変更してください。



横位置や縦位置の配置は、ツールバーでも簡単に変更できます。

ここまで設定したら、下の「OK」ボタンをクリックしてください。

また、RecSubTotal1 の「SubTotal1item4」フィールド、RecSubTotal2 の「SubTotal2item4」フィールドにも同様の設定を行ってください。

3. 次に、フィールドの位置と大きさをデザイン画面上で変更します。

RecDetail レコードの下にある「**item4**」フィールドをマウスで移動して、大きさも変更してください。

次に、「**item3**」フィールドを選択し、下ツールバーの  ボタン(フィールドの拡張)をクリックします。

RecHead の「cp_3」「cp_4」、RecSubTotal1 の「SubTotal1item3」「SubTotal1item4」、RecSubTotal2 の「SubTotal2item3」「SubTotal2item4」についても、同様に變更してください。

メニューリスト				
item1	item2	item3	item4	
item1				
	item2			
		item3		item4
	item2計		0	¥0
	item1計		0	¥0



フィールドを重ねて定義することはできません。



フィールドレイアウト機能には、「フィールド拡張」以外にも「幅を合わせる」「横位置を合わせる」などがあります。



キーボードの上下左右キーを使用すると、フィールドの位置を簡単に變更できます。また、SHIFT キーを押しながら上下左右キーでフィールドの大きさを変更できます。

4. これでフィールドの修正は完了です。印刷プレビューで出来上がりを確認してください。

メニューリスト			
2005/12/13 19:05:07 1 ページ			
item1	item2	item3	item4
阿田店			
サラダ			
	小エビのかくテルサラダ		¥280
item2計		0	¥280
item1計		0	¥280
成瀬店			
サラダ			
	小エビのかくテルサラダ		¥280
	ウカメサラダ		¥330
	イタリアンサラダ		¥280
	アスパラサラダ		¥280
	グリーンサラダルーコウ菜入り		¥280
	肉サラダ		¥450
	生ハムサラダ		¥380
item2計		0	¥2,280
スパゲッティ			
	シーフードのオーロラソース		¥450
	たらこソースシシリー風		¥450
	パンチェッタカルボナーラ		¥540
	ミートソースボロニア風		¥420
	ペペロンチーノ		¥390
	ラバマニッカラピラッ		¥450

5. フォームを保存してください。



テキストフィールドのプロパティについては、PrintStream オンラインマニュアルの「PrintStream FormEditor」→「PrintStream 帳票」→「テキストフィールド」に詳しく記載されています。

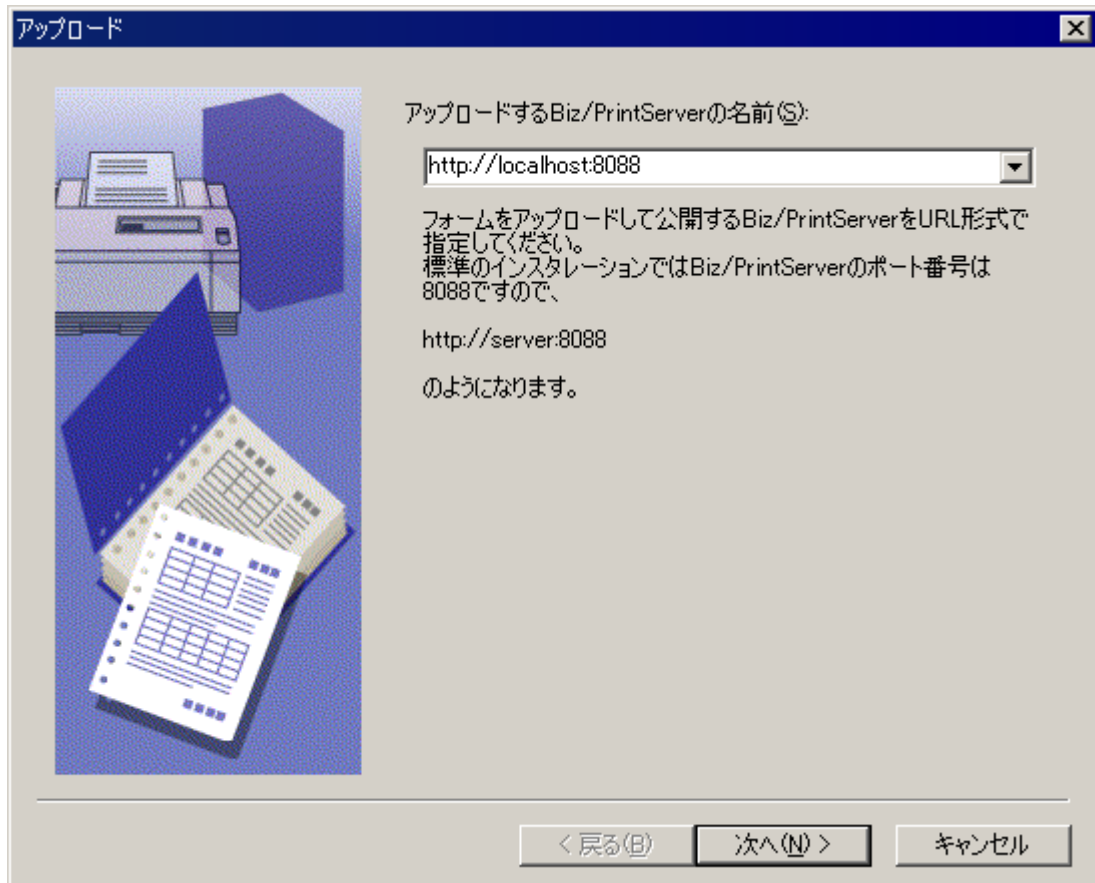


印刷プレビューをPDFに変更することができます。プレビューをPDFで行いたい場合は、メニューの「ツール」→「環境設定」を開き、「プレビュー」タブをクリックし、「PDF」を選択します。

5.5. Biz/PrintServer へのアップロード

作成したフォームを Biz/PrintServer にアップロードします。

1. メニューの「ファイル」→「Biz/PrintServer へアップロード」を選択してください。



「アップロードする Biz/PrintServer の名前」に”http://server:8088”のような形式で入力し、「次へ」をクリックしてください。

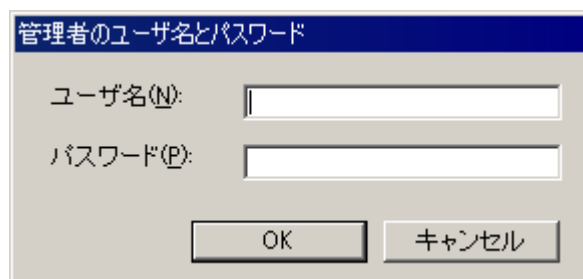


エラーが表示される場合は、Biz/PrintServer のサービスが起動していない可能性があります。サーバ上でサービスの確認をしてください。



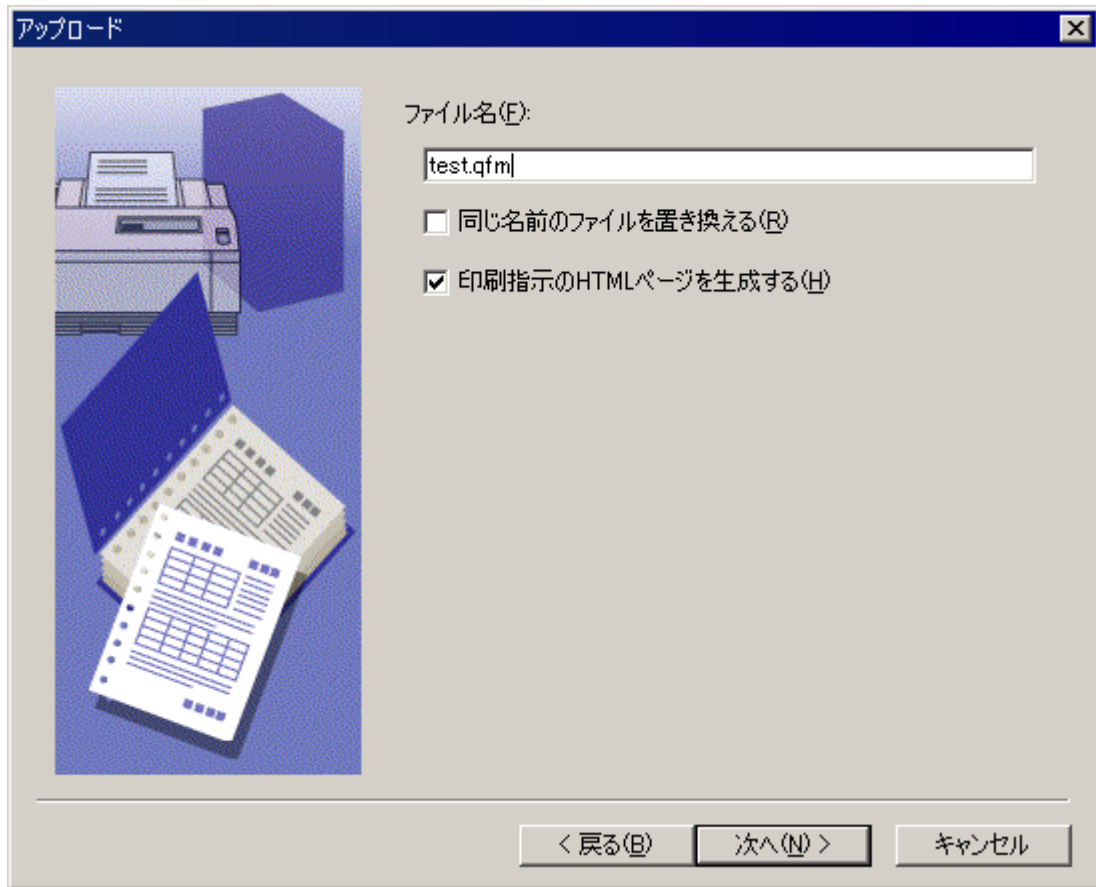
PrintStream FormEditor を Biz/PrintServer と同じ PC 上で利用している場合は、http://localhost:8088 でアクセスできます。

2. Biz/PrintServer 管理者のユーザ ID とパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。



出荷時のユーザ ID とパスワードは、どちらも”admin”です。

3. アップロード先のファイル名を設定します。



「ファイル名」にフォームファイルの名前(例: test.qfm)を入力し、「次へ」をクリックしてください



「同じ名前のファイルを置き換える」のチェックをすると、既にサーバに配置された同じ名前のフォームファイルを上書きするので注意してください。

4. アップロードの詳細情報を設定します。

「印刷指示ページのタイトル」には、任意のタイトルを入力してください。ここで入力したタイトルは、ブラウザで動作を確認する際に表示されるタイトルになります。

「HTML を生成するフォルダ」は、任意のフォルダを選択してください。ここで選択したフォルダは、ブラウザで動作を確認する際の分類になります。

「HTML ファイル名」には、任意のファイル名 (例: test.html) を入力します。上で選択したフォルダ内で重複した名前にならないよう注意してください。

「印刷実行モード」は、ブラウザでの動作確認時の方法を選択します。ここでは **QFM31PSG** を選択してください。



印刷実行モードでは、Biz/PrintServer 上で動作させる印刷モジュールを指定します。例えば、PDF で確認したい場合は「QFM31PDF」を選択します。



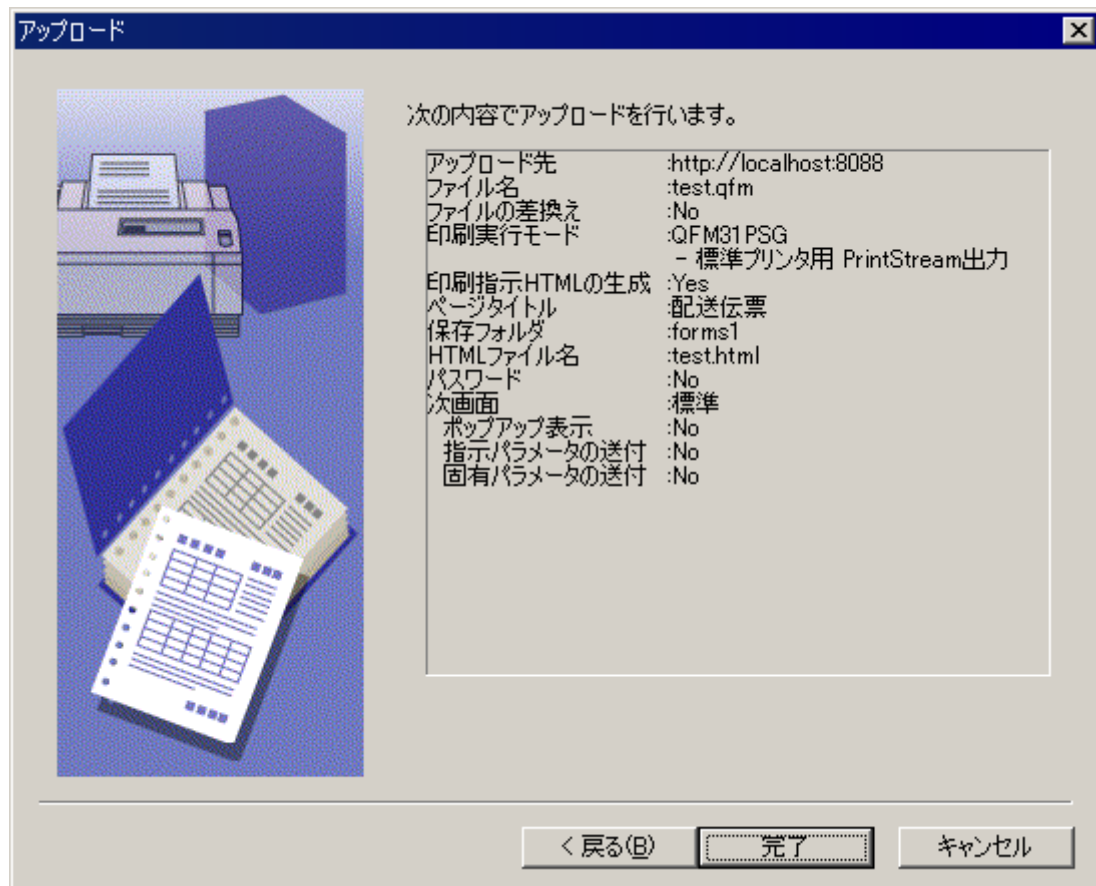
印刷実行モードの QFMxx の数字は、印刷モジュールのバージョンを示しています。

5. 印刷実行後に表示するページを指定します。



ここでは、「標準の印刷状況画面を表示する」を選択した状態で「次へ」をクリックしてください。

6. アップロード内容の確認です。



問題がなければ「完了」をクリックしてください。



完了を押した後に「test.qfm は既に存在しています」のようなエラーメッセージが出る場合は、サーバに同名のファイルが存在しています。ファイル名を指定する画面まで戻って別名を入力するか、「同じ名前のファイルを置き換える」にチェックをして、再度実行してください。

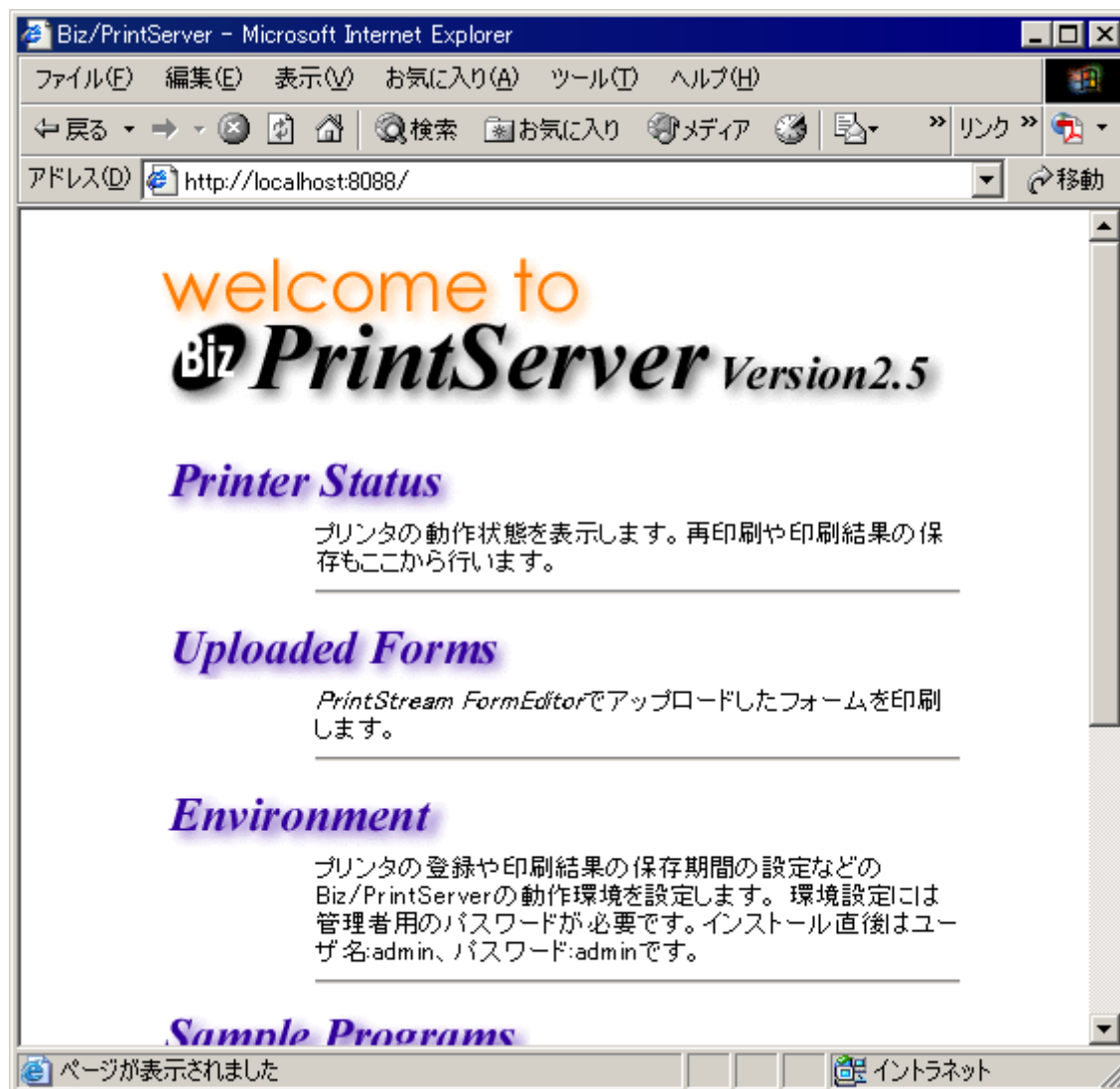


フォームのアップロード機能では、イメージファイルをアップロードすることはできません。イメージファイルを利用する場合は、フォームに埋め込むか、個別にサーバに配置してください。

5.6. アップロードしたフォームの確認

アップロードしたフォームを使用して、Internet Explorer 上で帳票出力の確認をします。

1. Internet Explorer を起動して、Biz/PrintServer の管理画面を表示します。アドレスに Biz/PrintServer のサーバ名 + ポート番号を入力して、画面を表示してください。

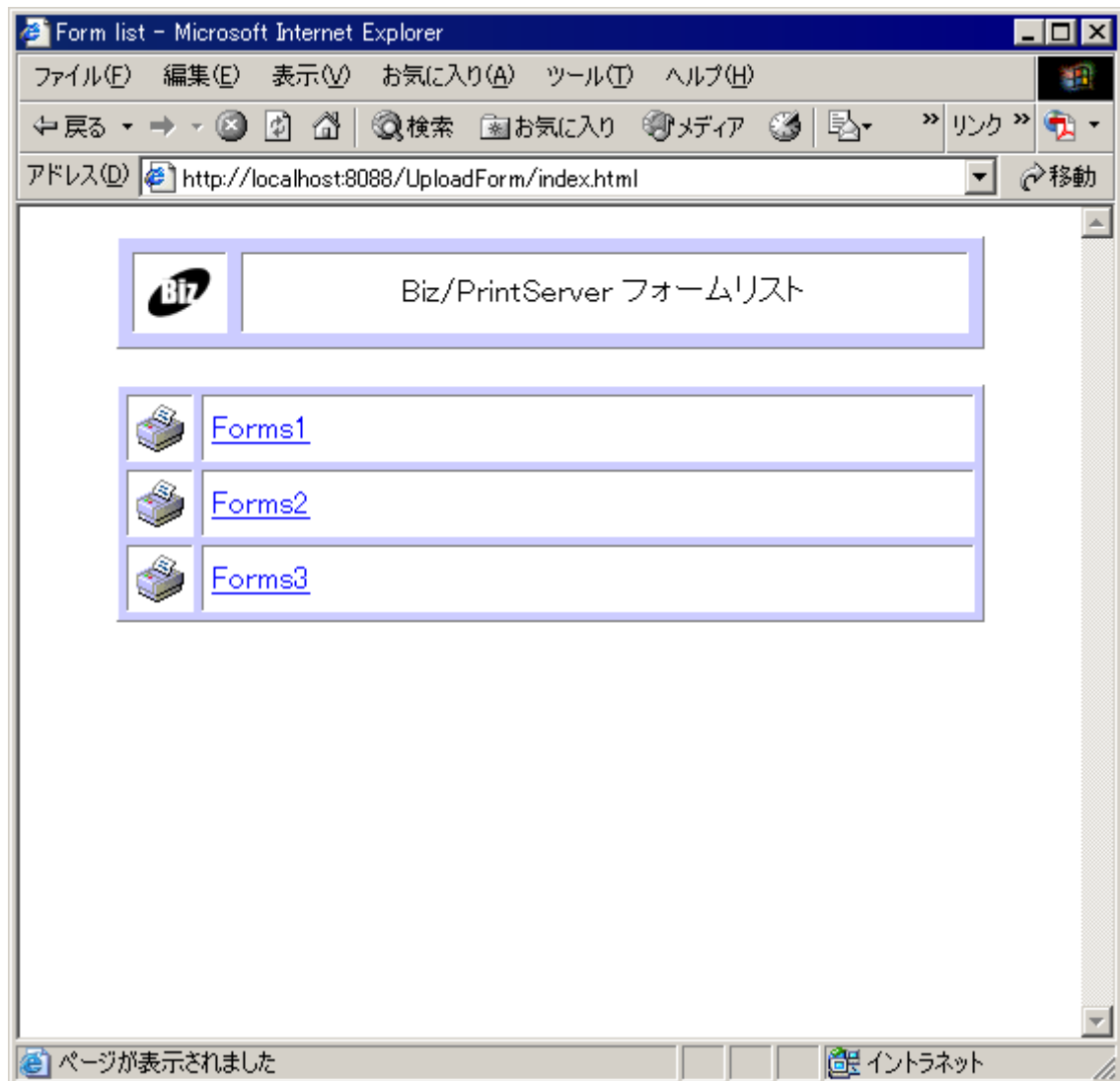


表示された画面では、「**Uploaded Forms**」をクリックしてください。



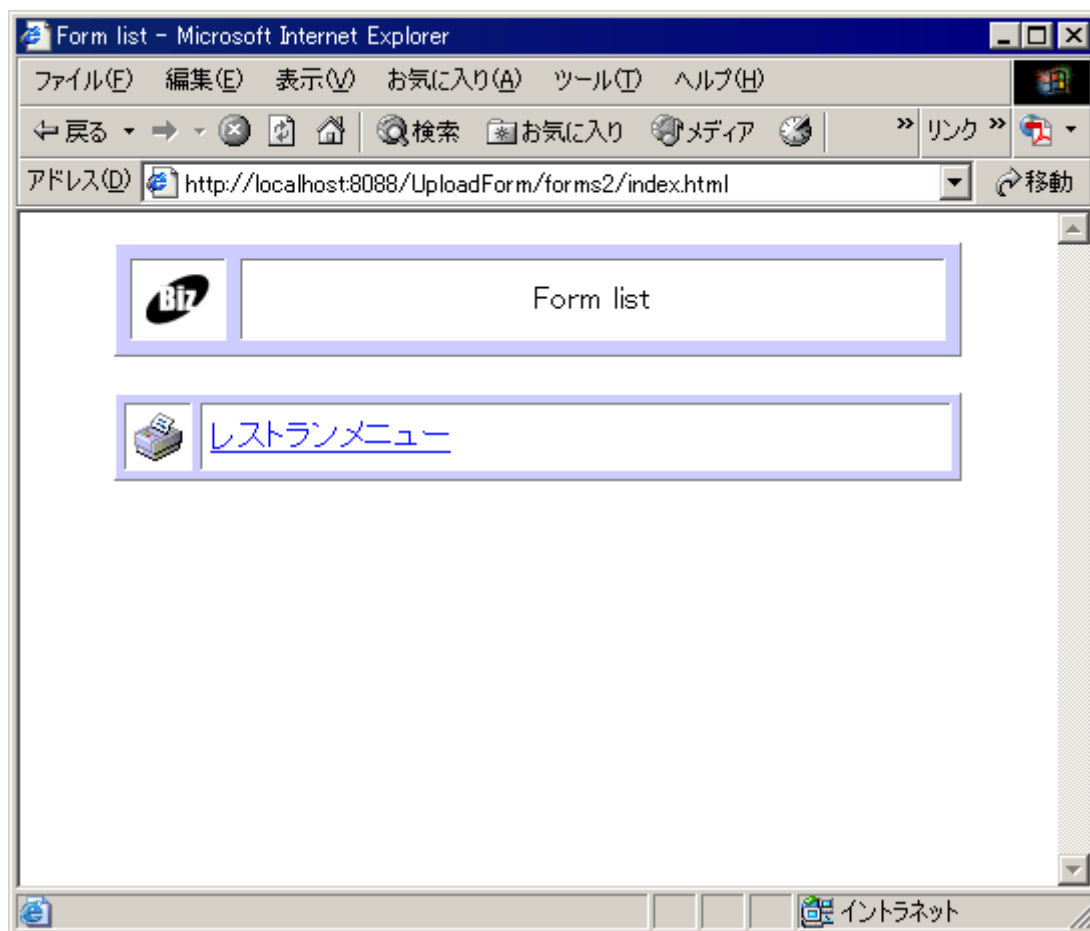
出荷時の状態で同一 PC 内に Biz/PrintServer がインストールされている場合のアドレスは、「http://localhost:8088/」になります。

2. フォームを分類したフォルダの一覧が表示されます。



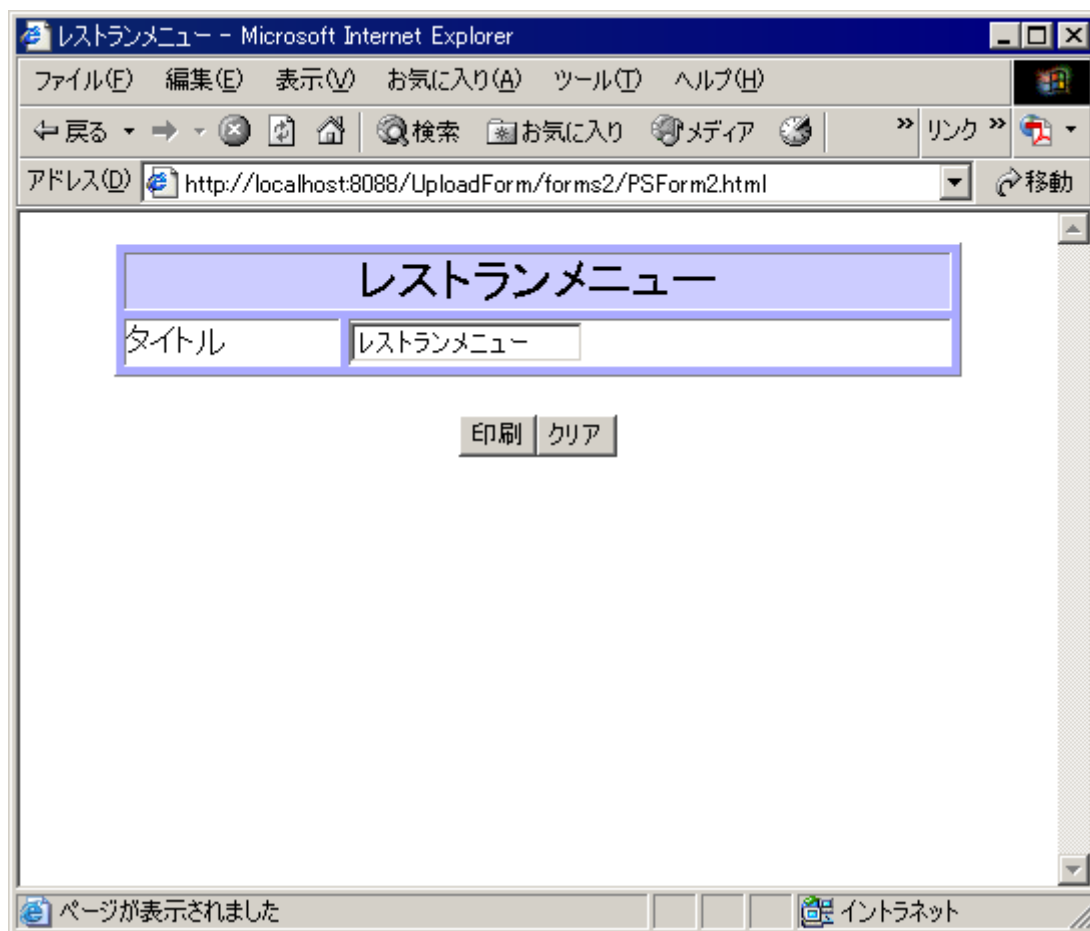
フォームのアップロード時に選択した**フォルダ名**をクリックしてください。

3. フォームのタイトル一覧が表示されます。



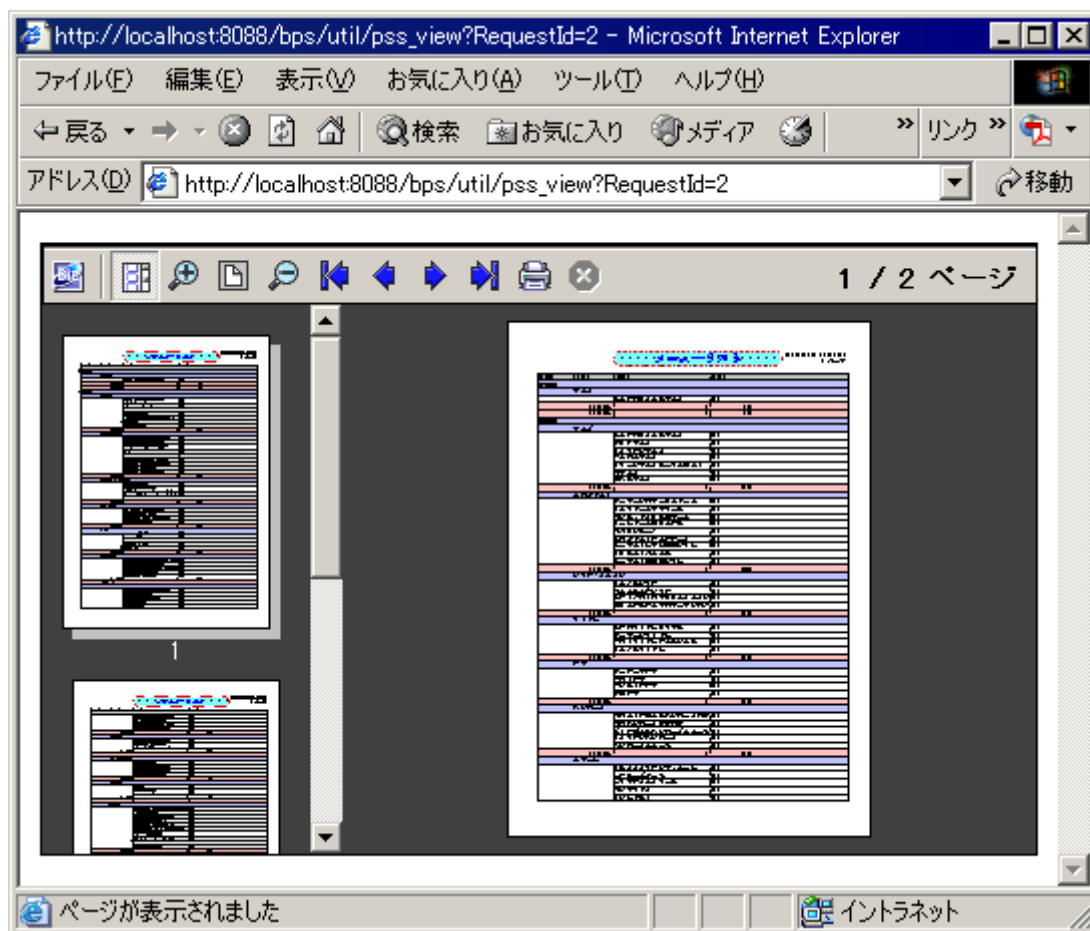
フォームのアップロード時に選択した**タイトル**をクリックしてください。

4. 印刷用フォームが表示されます。



「印刷」ボタンをクリックしてください。

5. 印刷リクエスト受付画面が表示されたあと、印刷プレビュー画面が表示されます。



PrintStream for Internet Explorer (ActiveX) の印刷プレビュー画面です。

この画面では、拡大、縮小や次ページ、前ページの表示などの印刷プレビュー機能を使用できます。

プリンタアイコンをクリックすると印刷ダイアログが表示されます。印刷ダイアログでは、プリンタを選択して印刷することができます。



プレビュー画面に「PrintStream Sample」という文字が印刷される場合は、ライセンスを登録することで文字が印刷されなくなります。



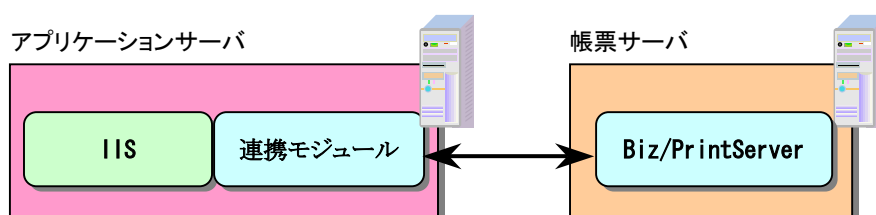
プレビュー画面は、初めて表示した場合にのみ ActiveX のダウンロードが実行されます。

6. Internet Information Service (IIS)との連携

この章では、Internet Information Service(IIS)上の ASP プログラムから Biz/PrintServer の API を呼び出して印刷を実現する方法について説明します。

6.1. 連携モジュールのインストール

IIS の導入されたサーバに Biz/PrintServer と連携するためのモジュールをインストールします。この作業は、**Biz/PrintServer** と IIS が別々のサーバに導入されている場合のみ必要です。



IIS と同じサーバに Biz/PrintServer を導入している場合は、この作業は必要ありません。

IIS の導入されたサーバで、製品 CD-ROM の **SETUP.EXE** を実行してください。



Biz/PrintServer インストーラが起動します。「次へ」をクリックしてください。



Biz/PrintServer のインストール先を指定します。

標準のインストール先で問題ない場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を指定してください。



標準のインストール先である”AXIS Software”は、PrintStream FormEditor や他の弊社製品の標準である”AXIS SOFT”とは違います。これは、旧バージョンとの互換性のためであり、”AXIS SOFT”や他のフォルダにインストールしても問題ありません。



インストールするコンポーネントを選択します。「印刷サーバとして設定する」のチェックを外して、「次へ」をクリックしてください。



「印刷サーバとして設定する」のチェックをつけたままにすると、Biz/PrintServer 本体がインストールされてしまうので注意してください。



Windows のスタートメニューへの登録です。

標準の設定で問題ない場合は、「次へ」をクリックしてください。



標準の登録先である”AXIS Software”は、PrintStream FormEditor や他の弊社製品の標準である”AXIS SOFT”とは違います。これは、旧バージョンとの互換性のためであり、”AXIS SOFT”や他の名前を登録しても問題ありません。



確認画面です。「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。

インストールが完了すると、完了画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてインストールを終了させてください。



この作業では、Biz/PrintServer 本体はインストールされません。連携モジュール部分のみがインストールされます。



インストール後のサーバ再起動は必要ありません。

6.2. Windows の設定変更

Windows Server 2003 SP1以降、Windows XP SP2以降の OS については、Windows のセキュリティに関する設定の既定値が変更されたため、設定を修正する必要があります。

他の Windows については設定を修正する必要ありません。

以降の設定は、**Biz/PrintServer** を導入したサーバに対して行ってください。

ここでは、**Windows Server 2003 SP1** を例に設定方法を説明します。



Windows NT や Windows 2000、または上記の OS で対象サービスパックを適用していない場合は、この作業は必要ありません。



IIS と Biz/PrintServer を同じサーバに導入している場合は、そのサーバに対して設定を行ってください。



DCOM 機能の既定値の変更について

対象サービスパックでは、Windows セキュリティの強化を目的として、DCOM 機能の既定値が変更されました。その結果、Biz/PrintServer API が利用する DCOM 機能が制限され、IIS からの接続が拒否されます。

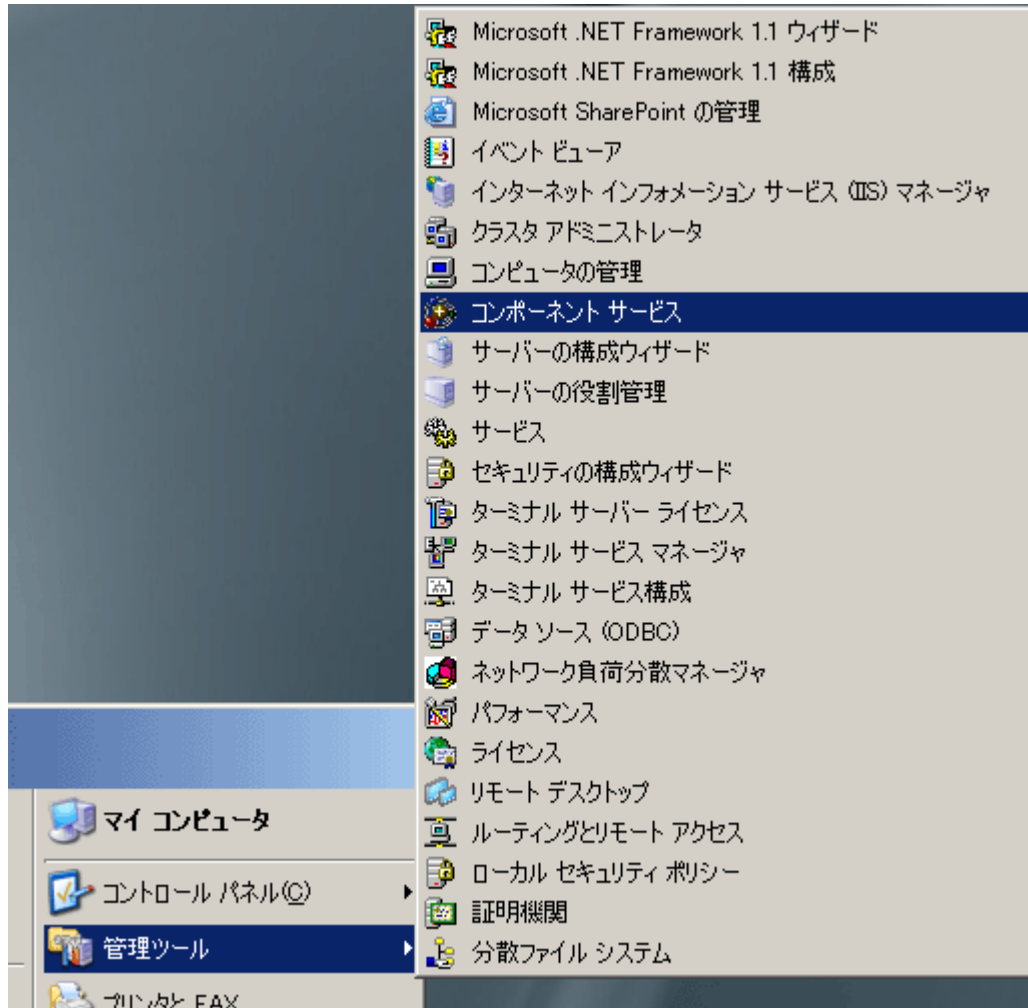
Biz/PrintServer の DCOM コンポーネントに対して、Windows の DCOM 機能制限の設定を変更することで、動作可能となります。

参考 URL (マイクロソフトのサポート技術情報)

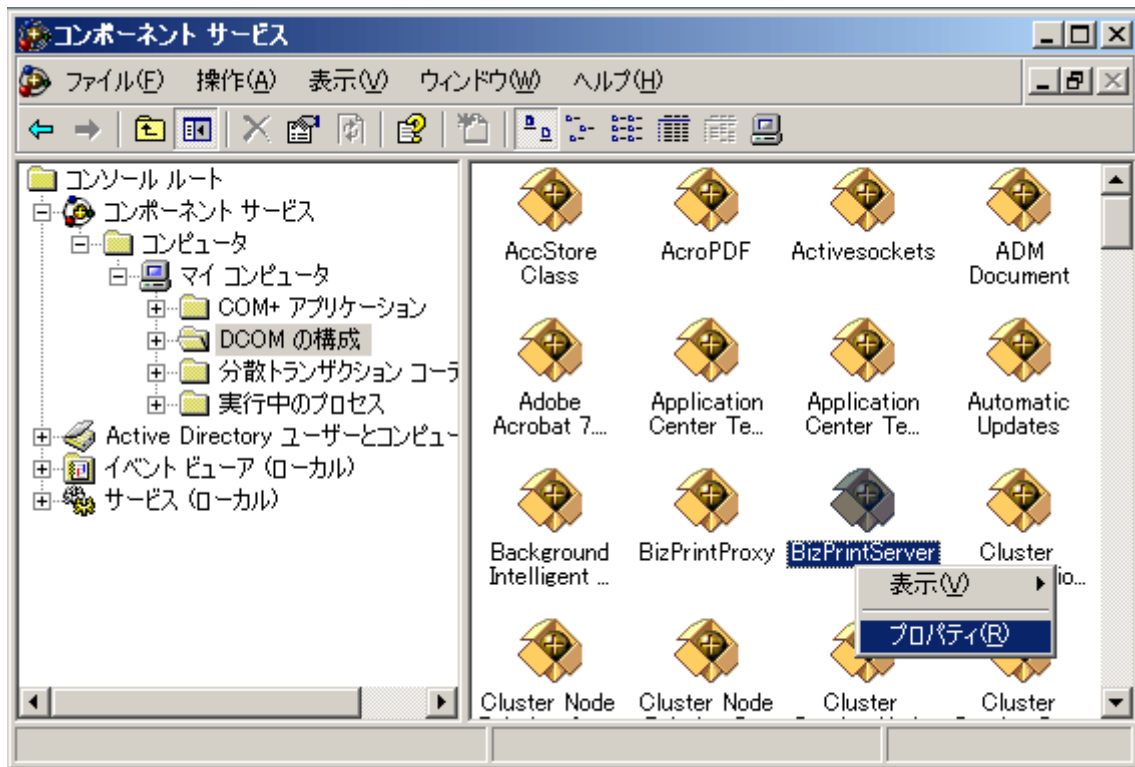
<http://support.microsoft.com/kb/892500/ja>

<http://support.microsoft.com/kb/889101/ja>

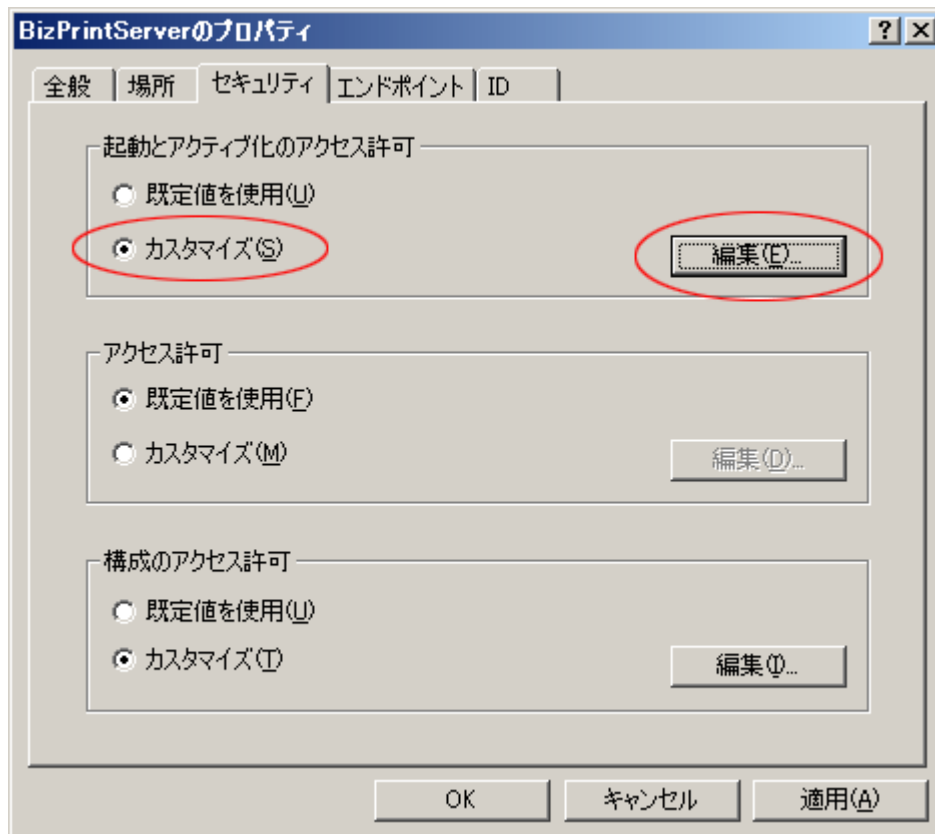
1. Biz/PrintServer を導入しているサーバ上で、Windows のスタートメニューから、「管理ツール」→「コンポーネント サービス」を選択します。



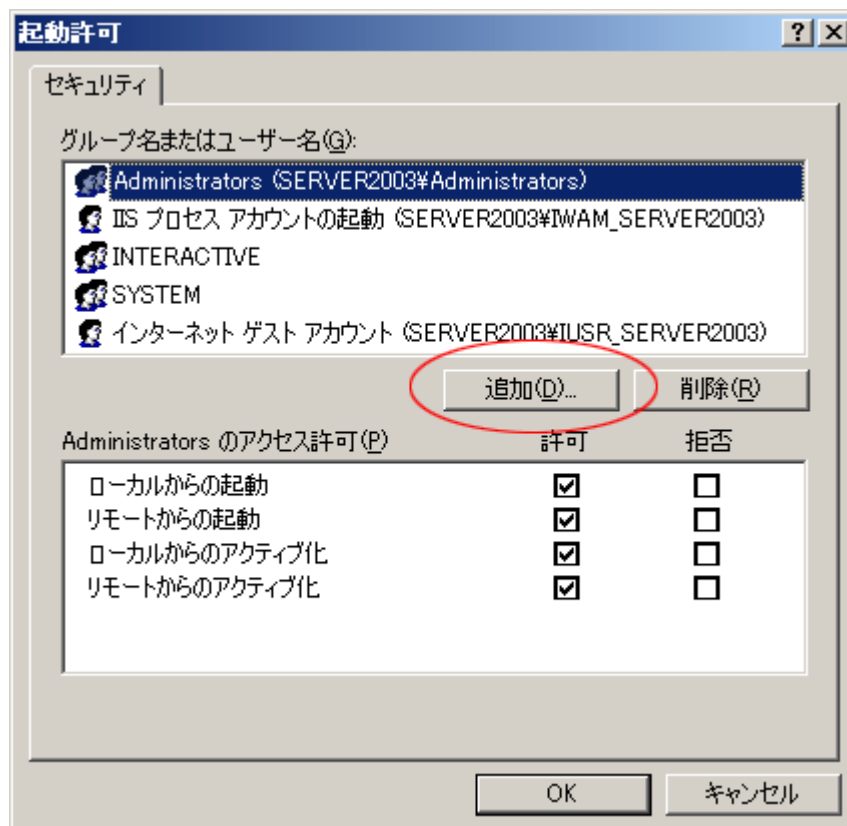
2. 「コンポーネント サービス」画面の左側ツリーで、「コンソール ルート」→「コンポーネント サービス」→「コンピュータ」→「マイ コンピュータ」→「DCOM の構成」を選択し、画面右側から「BizPrintServer」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。



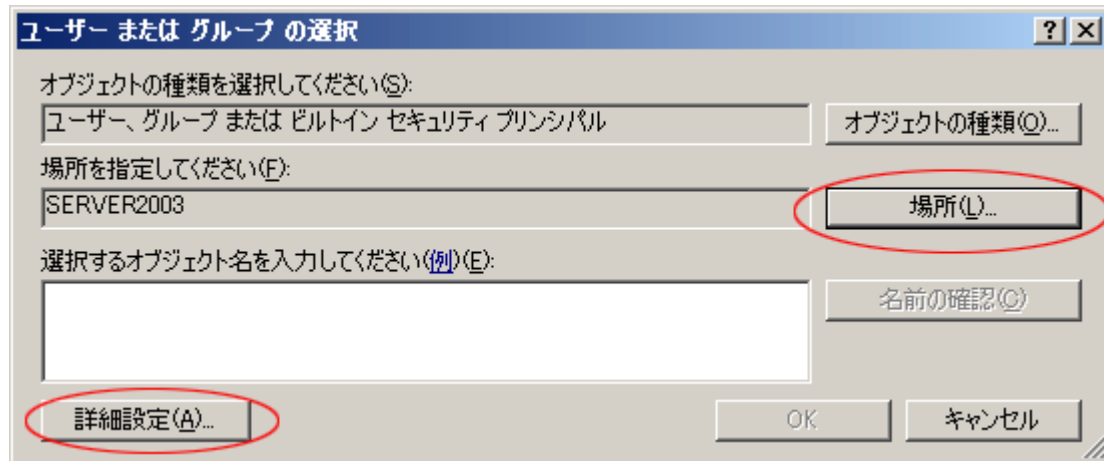
3. 「BizPrintServer のプロパティ」ダイアログでは、「セキュリティ」タブを選択し、「起動とアクティブ化のアクセス許可」領域の「カスタマイズ」を選択して、「編集」ボタンをクリックします。



4. 「起動許可」ダイアログでは、「追加」ボタンをクリックします。



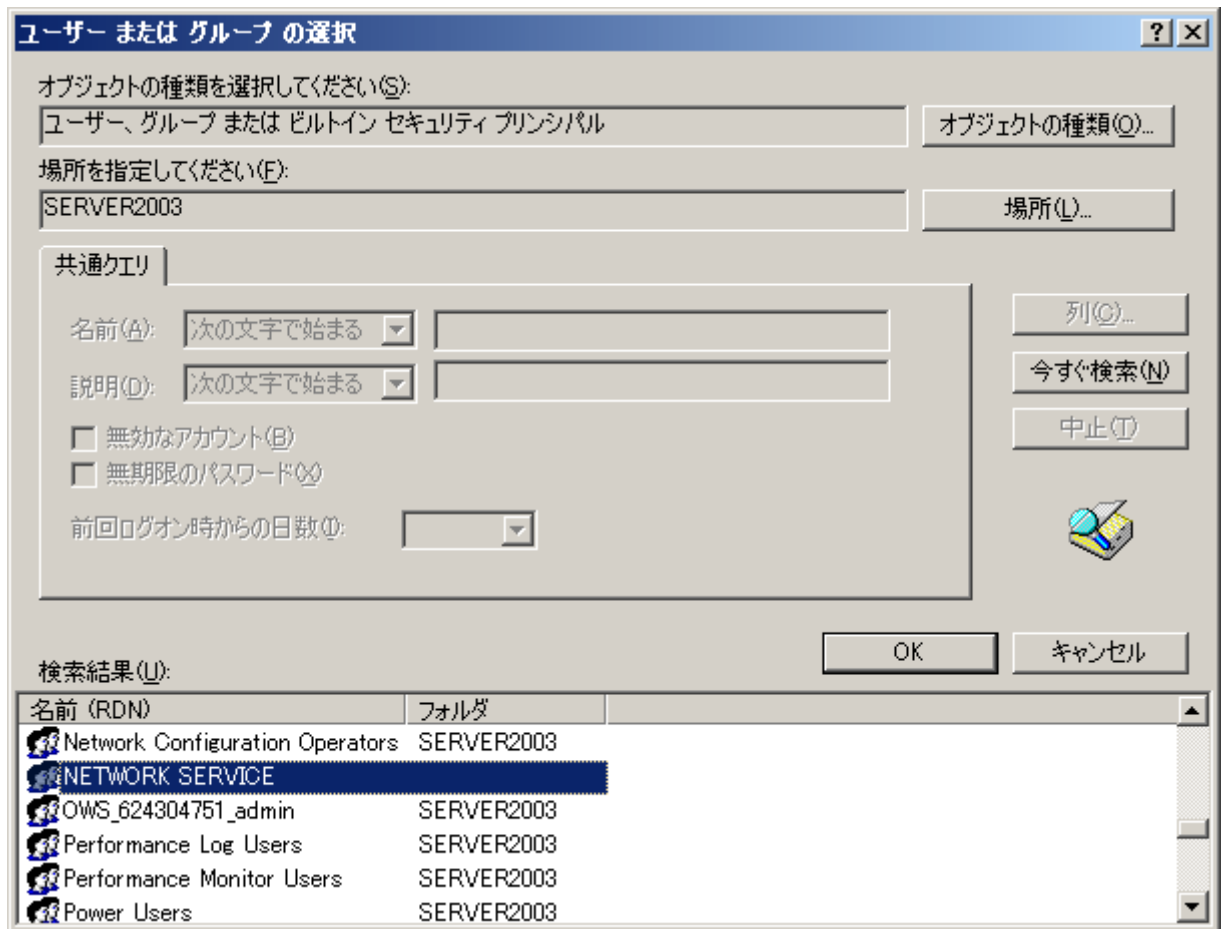
5. 「ユーザ または グループ の選択」ダイアログでは、「場所」ボタンをクリックしてサーバ名を選択後、「詳細設定」ボタンをクリックします。



以下の手順について、サーバの構成により違いがありますので注意してください。

Biz/PrintServer と IIS を同一サーバ上に導入している場合(1)

6. 「ユーザ または グループ の選択」ダイアログの下部分で、「**NETWORK SERVICE**」を選択して「**OK**」ボタンをクリックします。

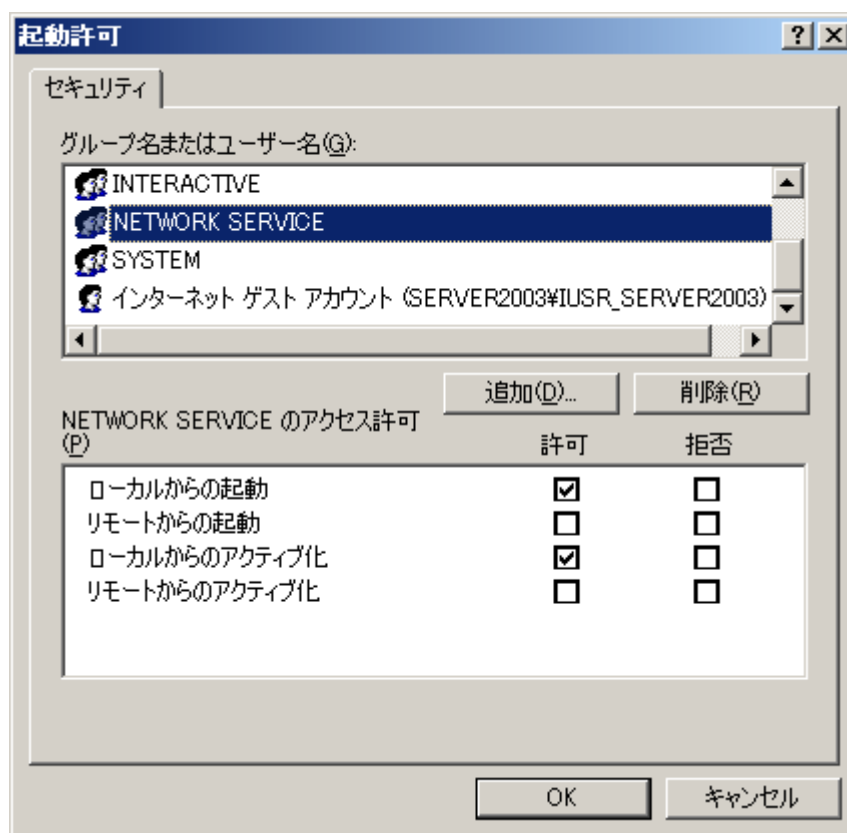


次のダイアログでもそのまま「**OK**」ボタンをクリックします。

Biz/PrintServer と IIS を同一サーバ上に導入している場合(2)

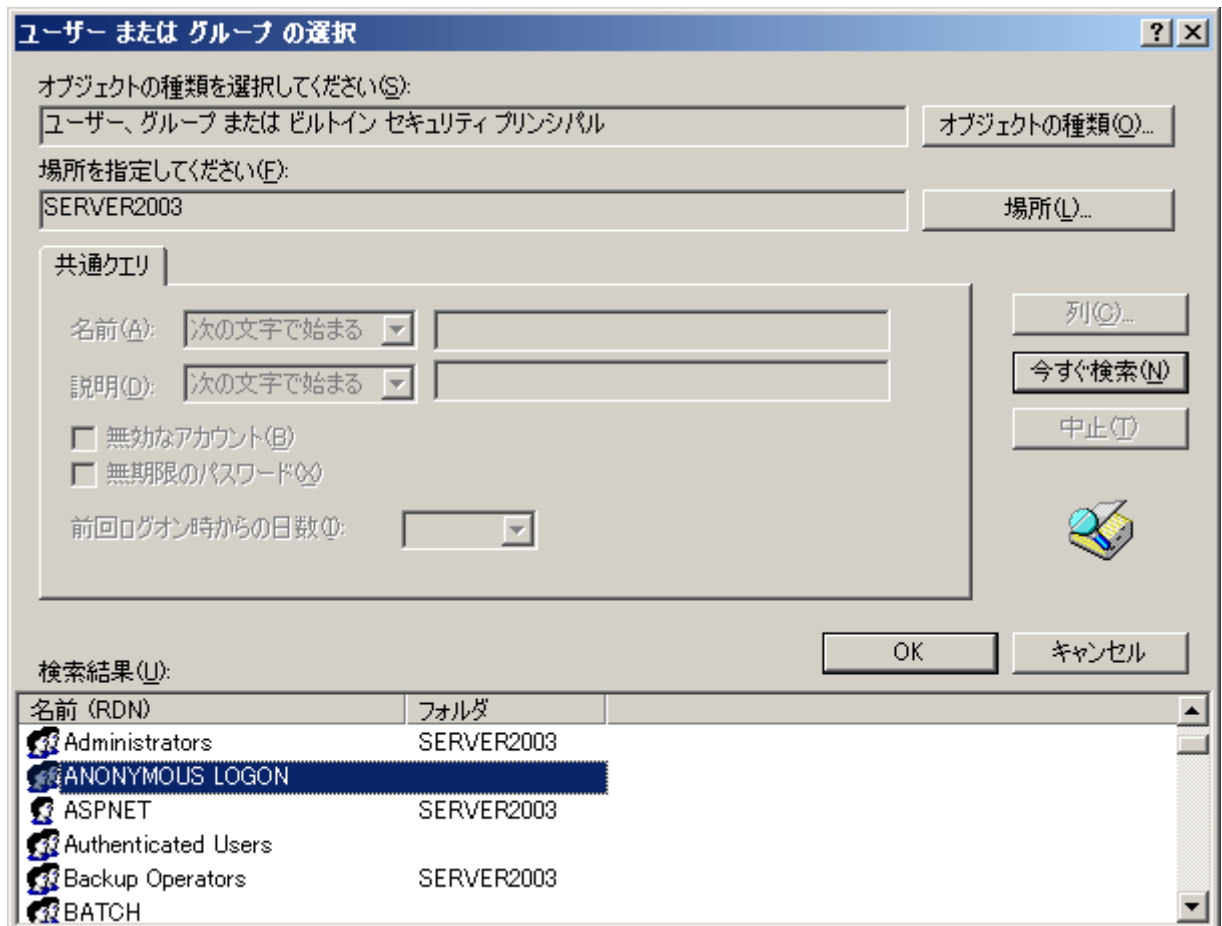
7. 「起動許可」ダイアログでは、追加した「NETWORK SERVICE」ユーザに対して「ローカルからの起動」「ローカルからのアクティブ化」の2箇所の「許可」にチェックをして「OK」ボタンをクリックします。

※ Windows XP の場合は、「インターネット ゲスト アカウント(IUSR_<コンピュータ名>)」に対して設定を行ってください。



Biz/PrintServer と IIS を別サーバに導入している場合(1)

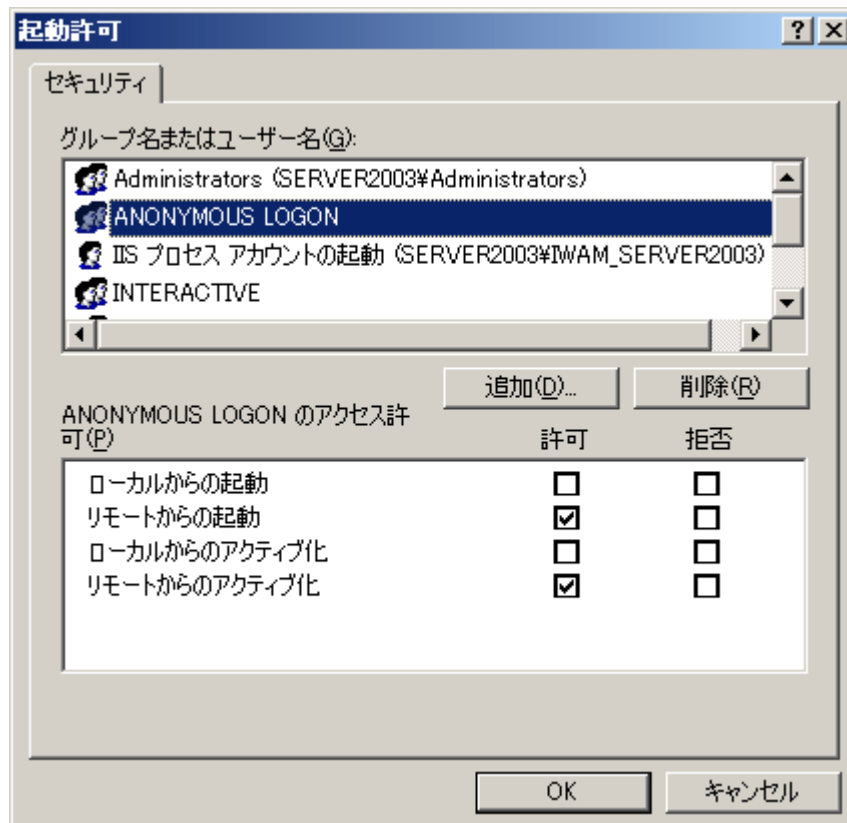
6. 「ユーザ または グループ の選択」ダイアログの下部分で、「ANONYMOUS LOGON」を選択して「OK」ボタンをクリックします。



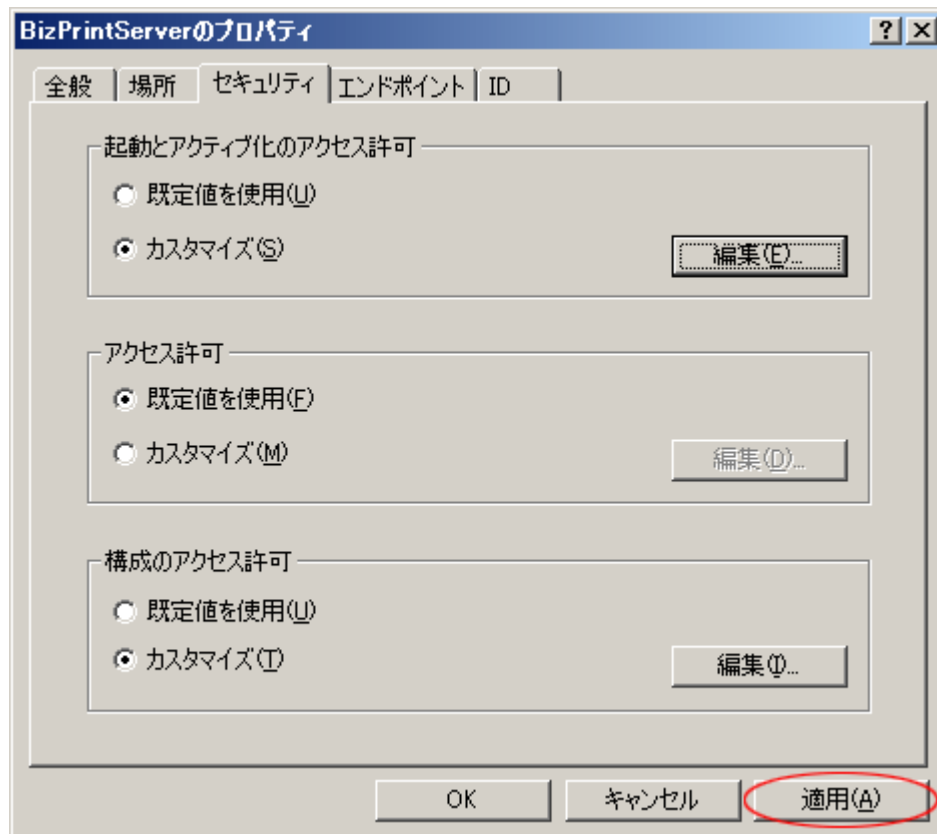
次のダイアログでもそのまま「OK」ボタンをクリックします。

Biz/PrintServer と IIS を別サーバに導入している場合 (2)

7. 「起動許可」ダイアログでは、追加した「ANONYMOUS LOGON」ユーザに対して「リモートからの起動」「リモートからのアクティブ化」の2箇所の「許可」にチェックをして「OK」ボタンをクリックします。



8. 「BizPrintServer のプロパティ」ダイアログで「OK」または「適用」ボタンをクリックしてください。

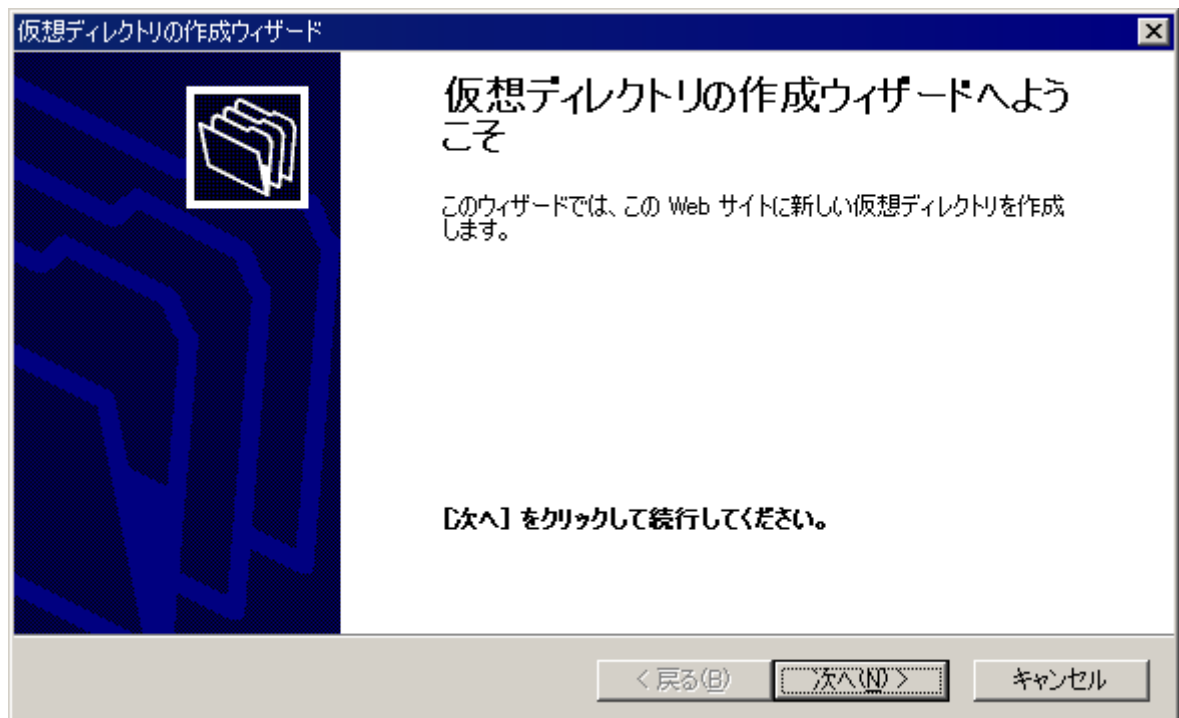


6.3. IIS サンプルの設定

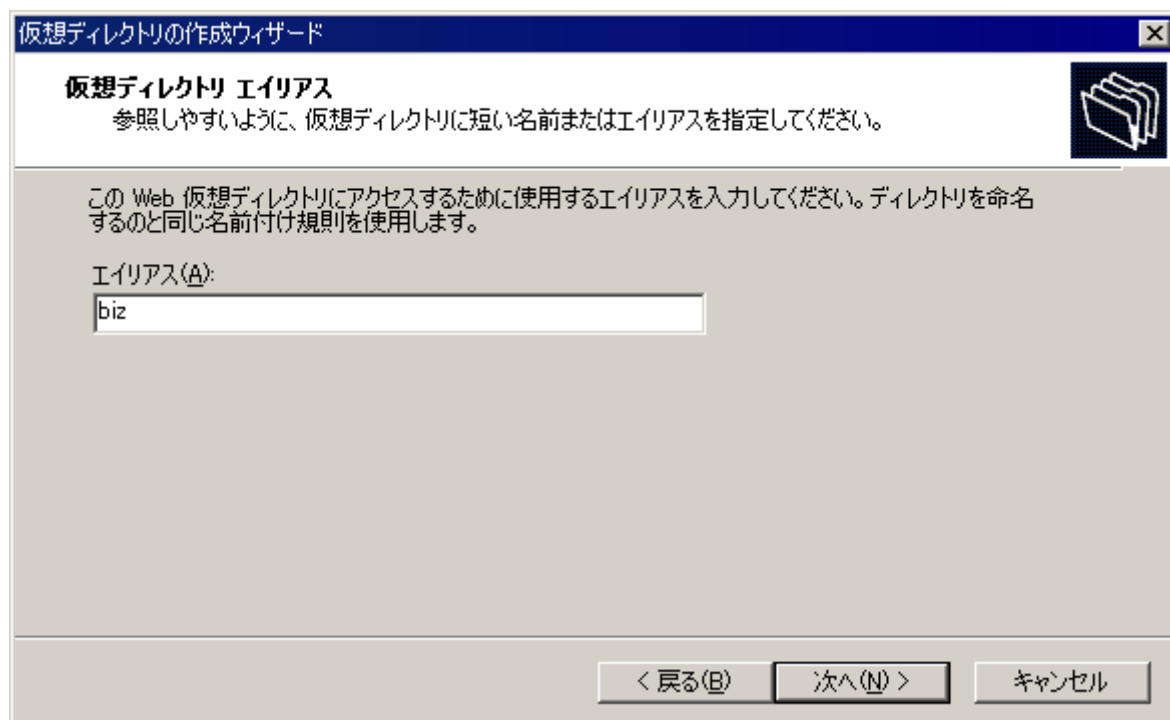
Biz/PrintServer には IIS 用のサンプルプログラムが添付されています。

ここでは、サンプルの設定を行い、連携の確認をします。

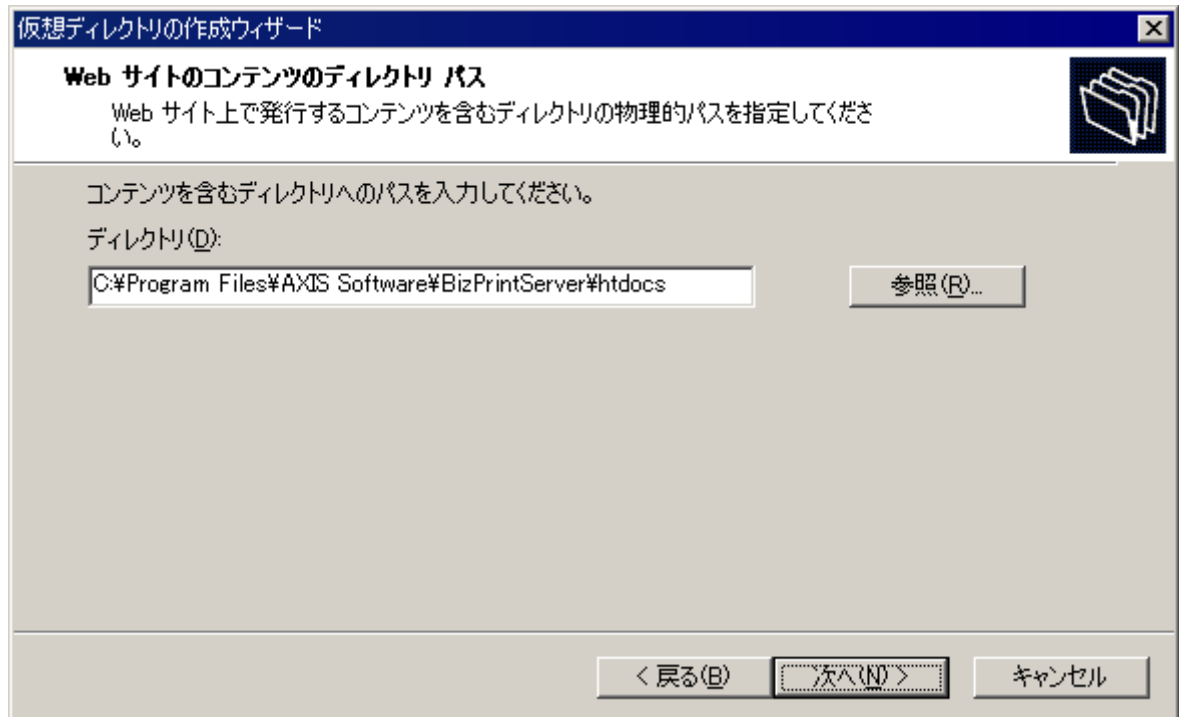
IIS の導入されたサーバで Windows の「管理ツール」から「インターネットサービスマネージャ」(IIS の設定画面)を開き、「既定の Web サイト」を右クリックして「新規作成」→「仮想ディレクトリ」を選択します。



この画面は「次へ」をクリックします。



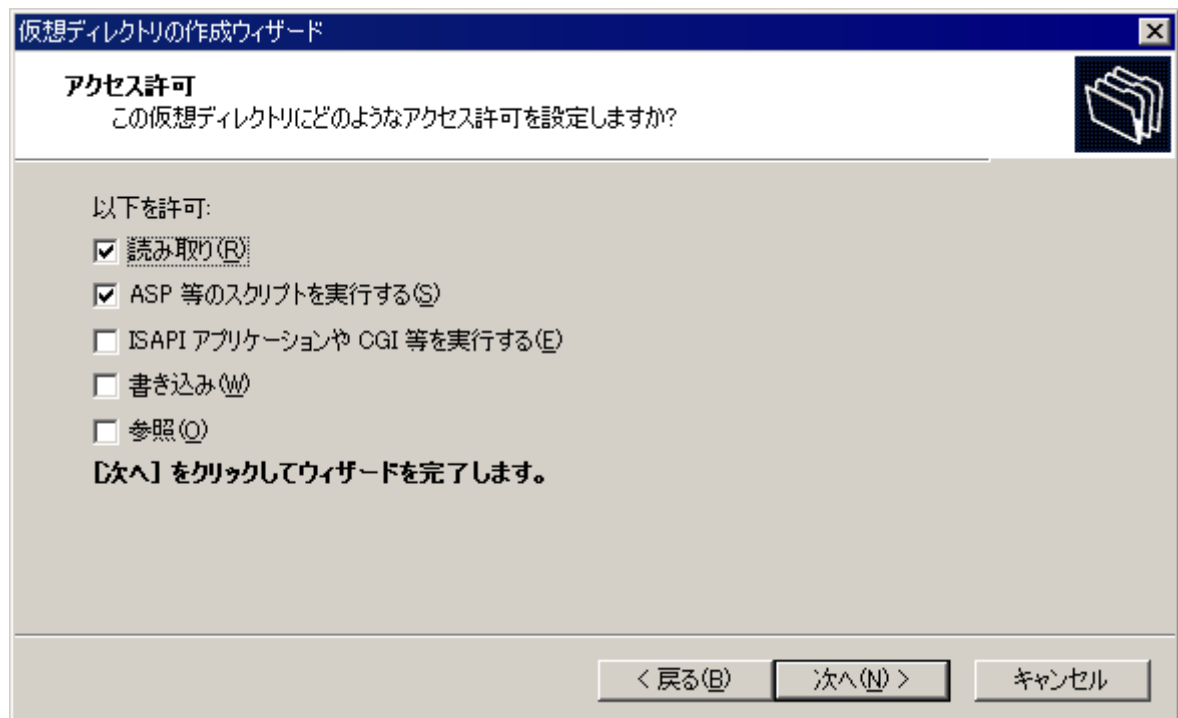
「エイリアス」には任意の名前を入力して、「次へ」をクリックします。



「ディレクトリ」には、「<Biz/PrintServer インストールディレクトリ>\htdocs」を指定して、「次へ」をクリックします。



Biz/PrintServer の標準のインストール先は、
” C:\Program Files\AXIS Software\BizPrintServer”になります。



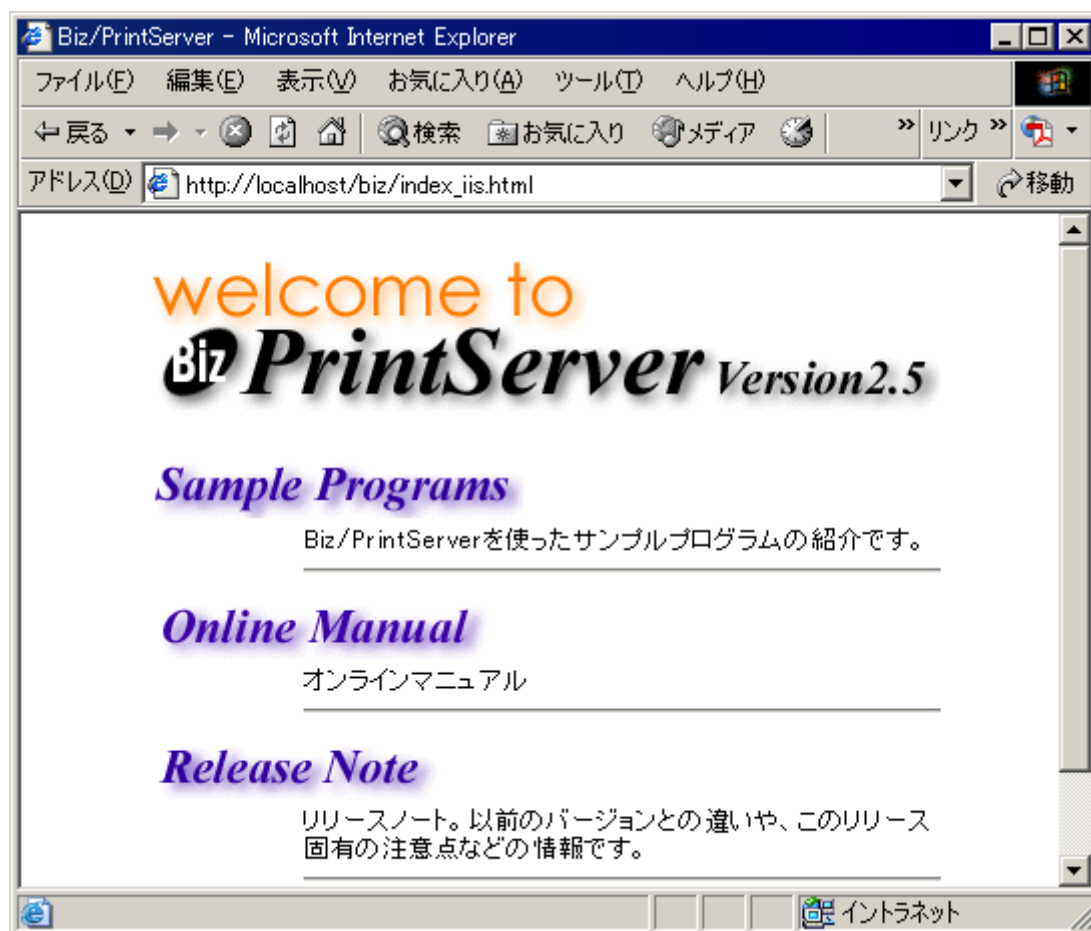
アクセス許可については、「読み取り」「ASP 等のスクリプトを実行する」がチェックされている状態で「次へ」をクリックしてください。



「完了」をクリックしてください。

次に **Internet Explorer** を開いて動作を確認します。

URL に `http://localhost/<エイリアス名>/index_iis.html` を指定してください。

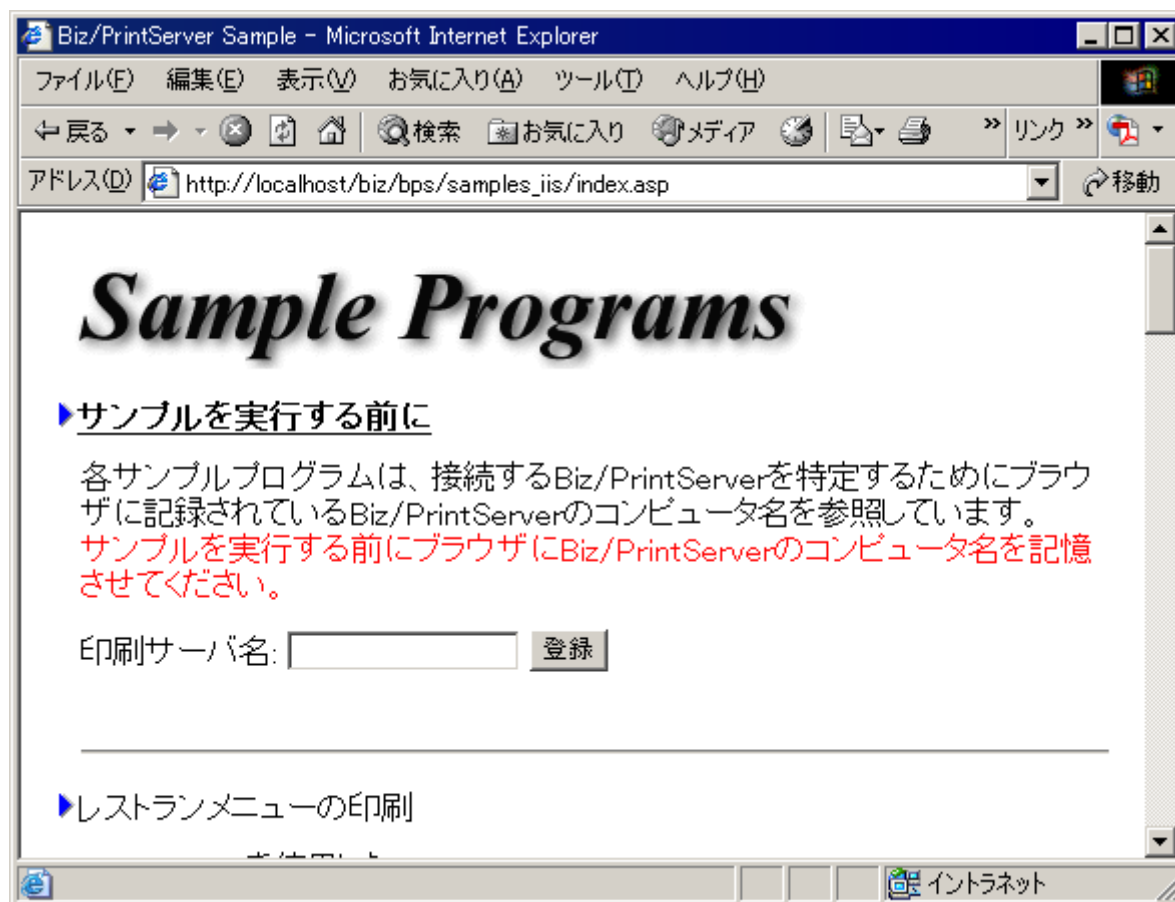


Biz/PrintServer と IIS の連携サンプルのページが表示されます。

「Sample Programs」をクリックしてください。



この画面は、Biz/PrintServer の管理画面 (<http://localhost:8088>) と似ていますが、別のものです。



「印刷サーバ名」には、Biz/PrintServer のサーバ名を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。



IIS と Biz/PrintServer が同一サーバ内にある場合は、印刷サーバ名は「localhost」を登録できます。



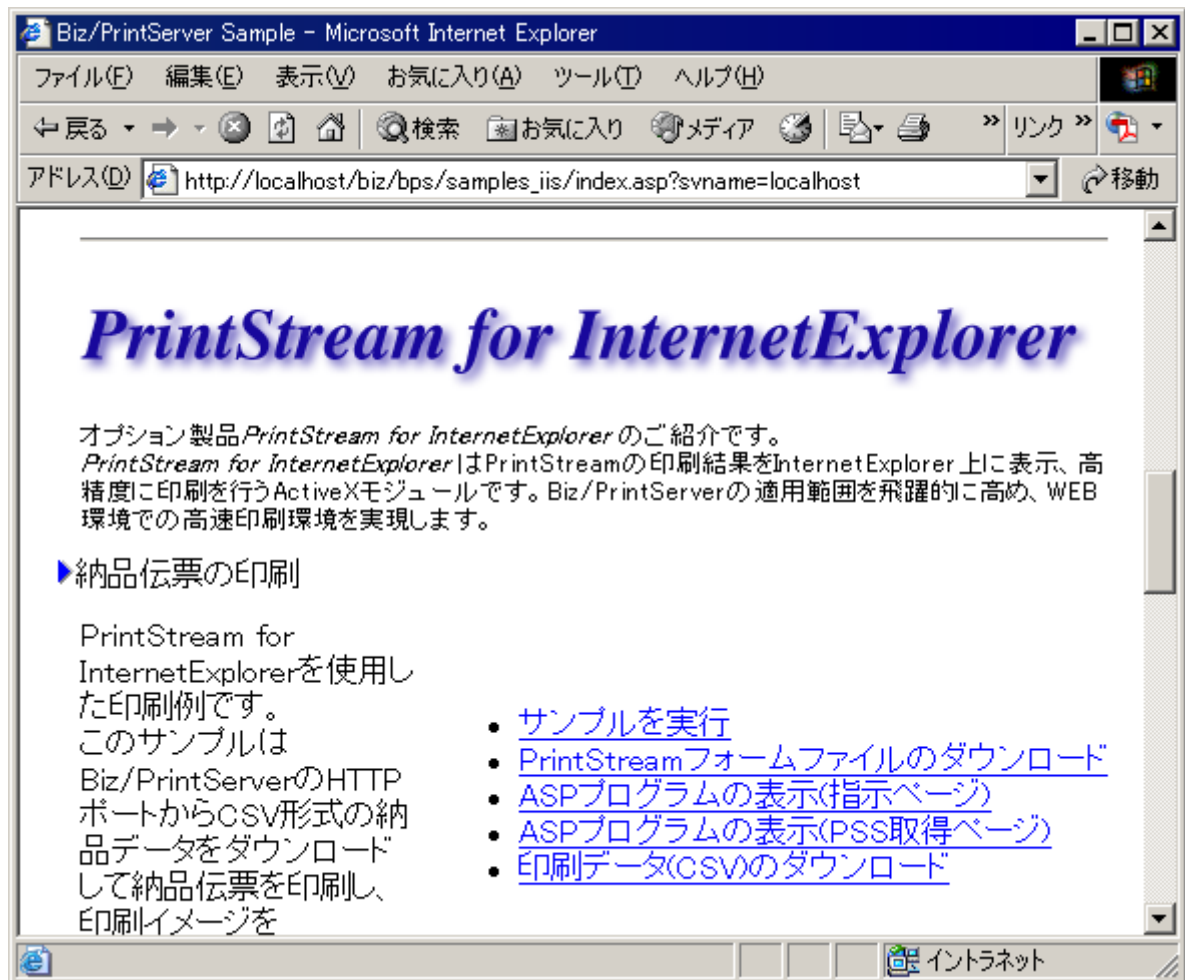
この画面が正しく表示されない場合は、ASP の動作設定が正しく行われていない可能性があります。IIS の設定で ASP の実行の許可などを確認してください。



Windows Server 2003 では、既定の設定で ASP が使用できないようになっています。IIS の設定で「Web サービス拡張」→「ActiveServerPage」を許可に設定してください。

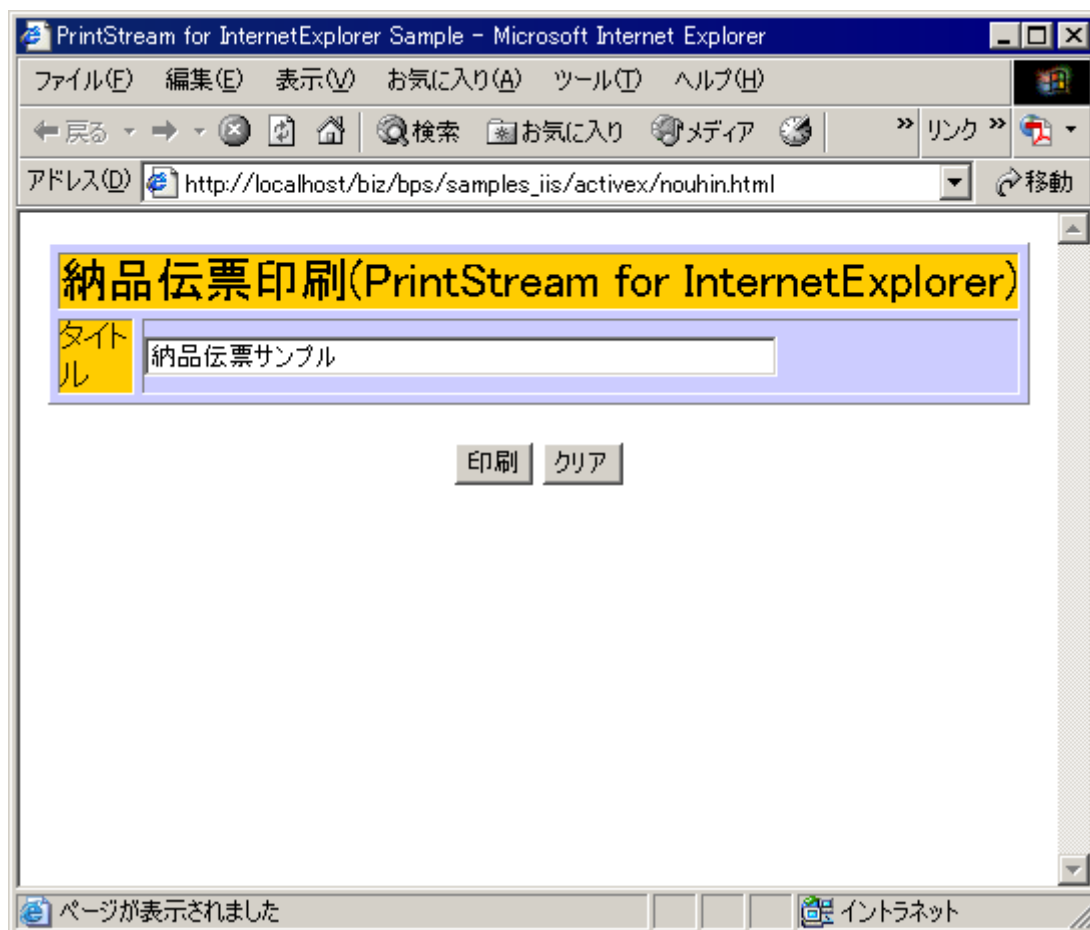
次に、実際にサンプルの動作確認を行います。

画面をスクロールし、「PrintStream for Internet Explorer」のサンプルを表示してください。

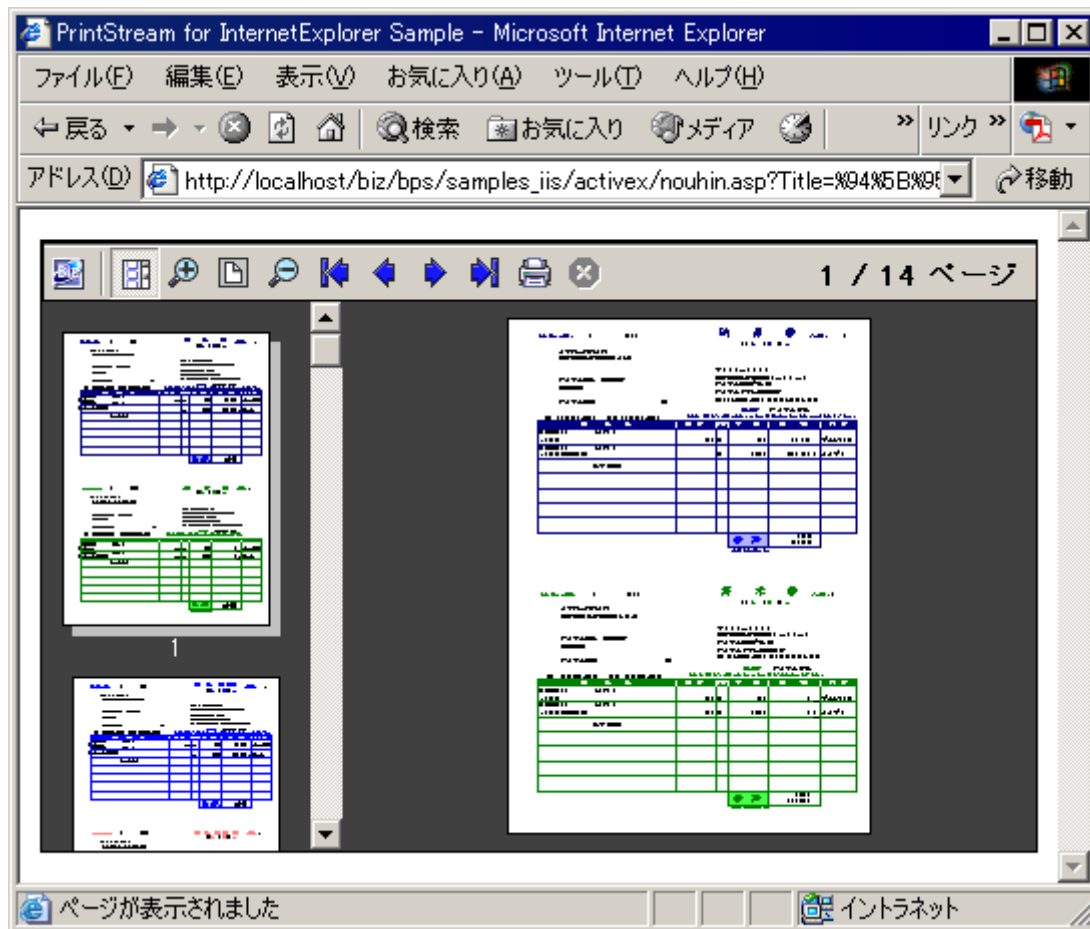


「サンプルを実行」をクリックしてください。

別ウィンドウで画面が開きます。



「印刷」ボタンを押してください。



プレビュー画面が表示されれば、IIS との連携確認は完了です。

プレビュー画面が表示されない場合は、ここまでの手順を再度確認してください。



「Microsoft VBScript 実行時エラー 書き込みできません」が表示される場合は、DCOM の設定が正しくない可能性があります。

6.4. IIS サンプルの確認

IIS 用サンプルプログラムには、さまざまなケースでの実装方法について記述された ASP のソースコードを添付しています。

これらのサンプルプログラムは、Biz/PrintServer との連携部分のプログラミング作成時に参考になります。



DCOM の API に関する詳細については、Biz/PrintServer 管理画面(localhost:8088)の「Online Manual」→「Developer」→「API リファレンスマニュアル」に詳しく記載されています。

1. サーバサイド印刷のサンプル

サーバに接続されたプリンタに対して印刷を行うサンプルです。プリンタは Biz/PrintServer に登録され、管理されます。

サンプルの場所

＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞\htdocs\bps\samples_iis\print

サンプルの構成

menulist.html menucard.html

サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目とプリンタの選択機能があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

menucard.asp menulist.asp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、プリンタへの印刷指示を出します。

printer.asp

Biz/PrintServer に接続してプリンタの一覧を取得し、画面に表示します。

job.asp

Biz/PrintServer に接続して印刷ジョブの状況を取得し、画面に表示します。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

フォームファイルは、＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞\forms\qfm にある menulist.asp.qfm、menucard.qfm が使用されます。

2. クライアントサイド印刷のサンプル

PrintStream for InternetExplorer (ActiveX) を利用したクライアントサイド印刷のサンプルです。クライアントに接続されたプリンタに印刷を行います。

サンプルの場所

＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥htdocs¥bps¥samples_iis¥activex

サンプルの構成

nouhin. html

サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

nouhin. asp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、PSS ファイル生成指示を出します。クライアントには、PrintStream for InternetExplorer を起動するための HTML を返します。

pss. asp

Biz/PrintServer の生成した PSS ファイルを取得し、クライアントに返します。
PrintStream for InternetExplorer から呼び出され、印刷プレビューを実現します。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

フォームファイルは、＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥forms¥qfm にある nouhin. qfm が使用されます。



PrintStream for InternetExplorer の HTML 上での呼び出し方法については、PrintStream FormEditor オンラインマニュアルの「PrintStream ActiveX」→「使い方」→「HTML の表記方法」に詳しく記載されています。

3. PDF 生成のサンプル

Document Generator を利用した PDF 生成のサンプルです。

Document Generator PrintStream は、PrintStream FormEditor を使用して作成されたフォームから PDF を生成します。

Document Generator HTML は、HTML で作成されたフォームから PDF を生成します。

サンプルの場所

＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥htdocs¥bps¥samples_iis¥docgen

サンプルの構成

nouhin_pdf.html

Document Generator PrintStream サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

europepdf.html taxpdf.html

Document Generator HTML サンプルの最初の画面です。印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

nouhin.asp europepdf.asp taxpdf.asp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、PDF ファイル生成指示を出します。クライアントには、PDF ファイルを呼び出すための HTML を返します。

showpdf.asp

Biz/PrintServer の生成した PDF ファイルを取得し、クライアントに返します。

europe.html tax.html

Document Generator HTML のフォームファイルです。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

Document Generator PrintStream のフォームファイルは、＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥forms¥qfm にある nouhin.qfm が使用されます。



DocumentGenerator HTML は、HTML から PDF を生成するオプション製品です。

7. Apache Tomcat との連携

この章では、Java による Web アプリケーションから Biz/PrintServer の API を呼び出して印刷を実現する方法について、Apache Tomcat を例に説明します。

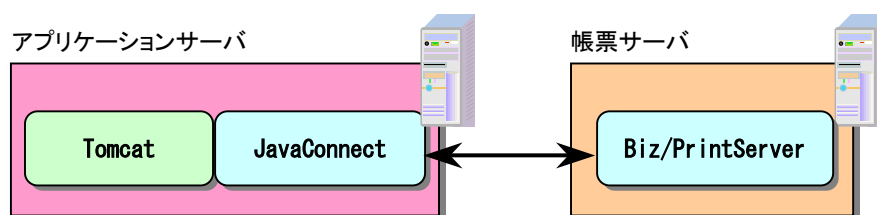
Apache Tomcat バージョン 5.5 を Windows サーバ上で利用することを前提として説明します。バージョンや OS の違いについては、それぞれの環境の状況に合わせて設定してください。



Apache Tomcat は、Apache のサイトから入手し、インストールを行ってください。

7.1. JavaConnect について

JavaConnect は、Java プログラムから Biz/PrintServer を呼び出すためのライブラリです。Biz/PrintServer インストールディレクトリの `htdocs¥WEB-INF¥lib` にある **BPSConnect.jar** がライブラリのファイルです。また、同じ場所に **xerces.jar** というファイルがあります。この2つのファイルをクラスパスの通ったディレクトリに配置することで、Biz/PrintServer との連携が可能になります。



xerces.jar は XML を処理するためのライブラリです。既に導入されている環境では必要が無い場合があります。

7.2. Apache Tomcat サンプルの準備

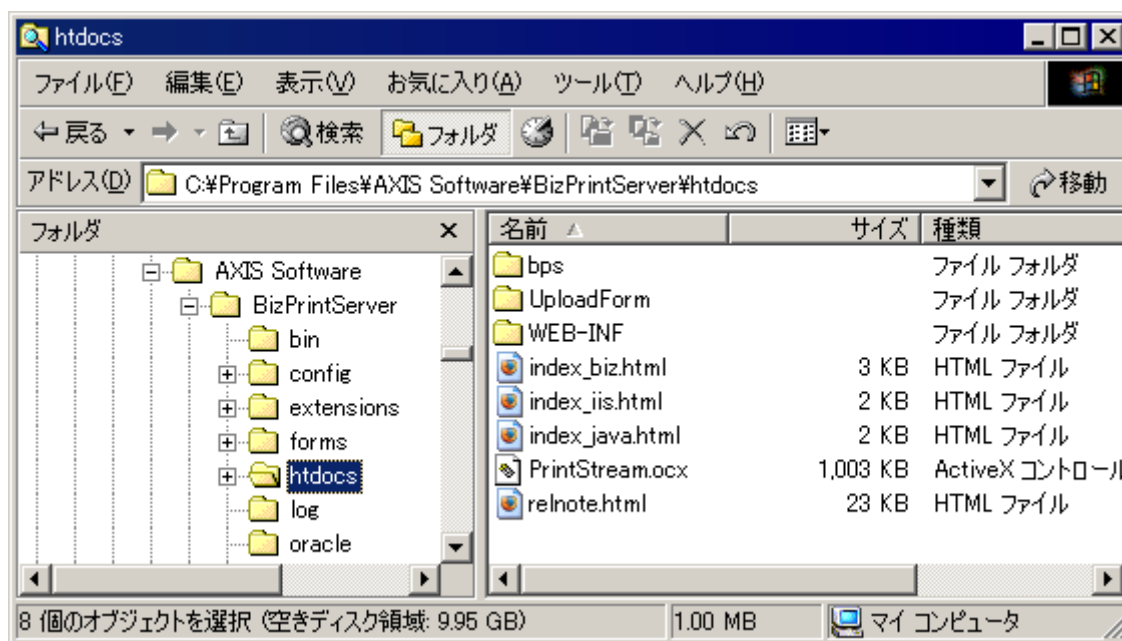
Biz/PrintServer をインストールすると、Apache Tomcat 用サンプルのファイル一式が同時にインストールされます。これらのファイルを Apache Tomcat を導入したサーバにコピーすることで、サンプルの準備を行います。

この作業は、**Biz/PrintServer** と **Apache Tomcat** が別々のサーバに導入されている場合のみ必要です。



Apache Tomcat と同じサーバに Biz/PrintServer を導入している場合は、この作業は必要ありません。

Biz/PrintServer インストールディレクトリにある **htdocs** ディレクトリ全体を Apache Tomcat の導入されたサーバの任意の場所にコピーしてください。



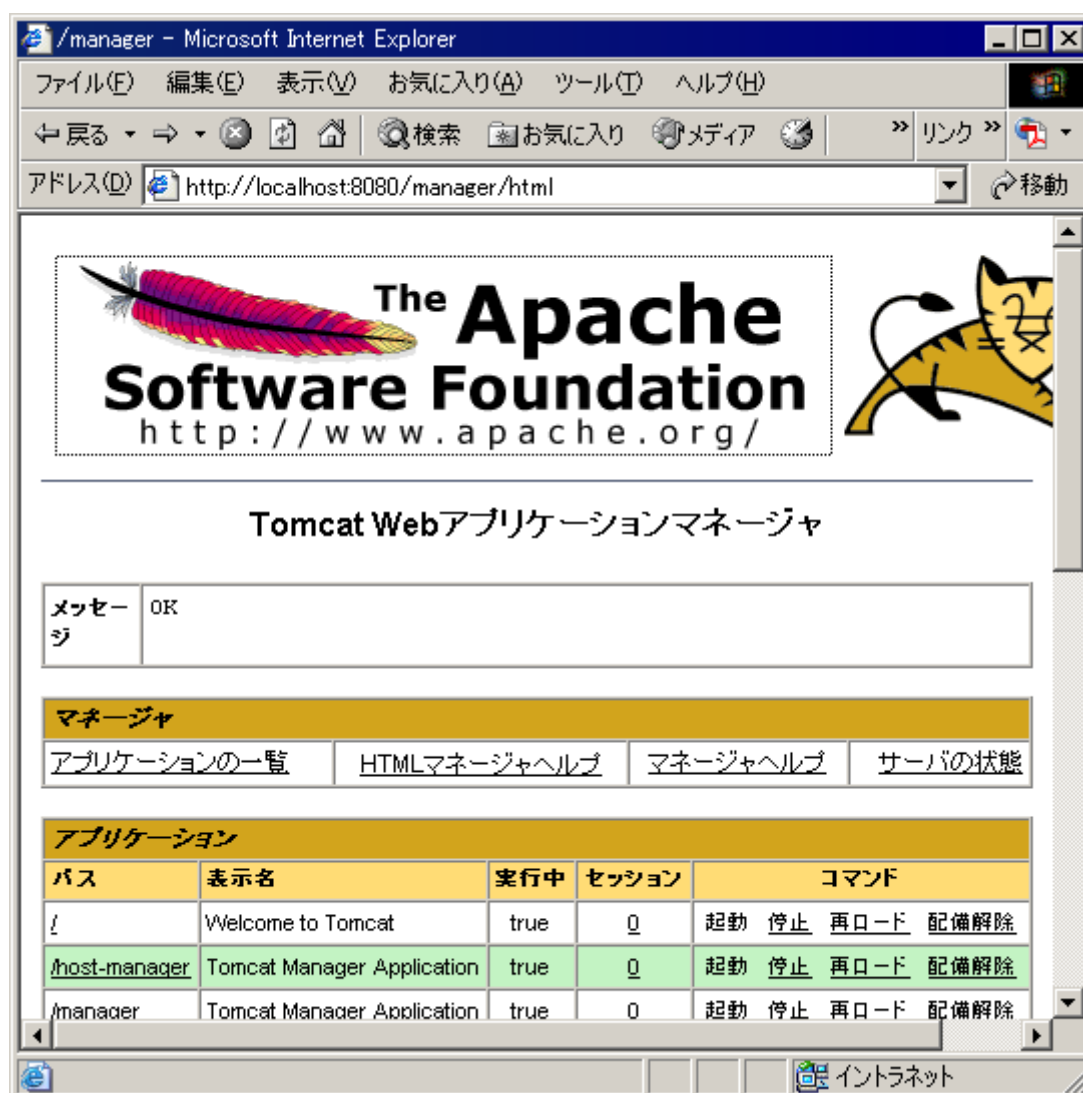
htdocs 以下のファイルには、Apache Tomcat 用サンプルと関係の無いファイルも含まれていますが、サンプルを確実に動作させるために、この方法を推奨します。

7.3. Apache Tomcat サンプルの設定

Tomcat Manager を使用してサンプルの設定を行います。

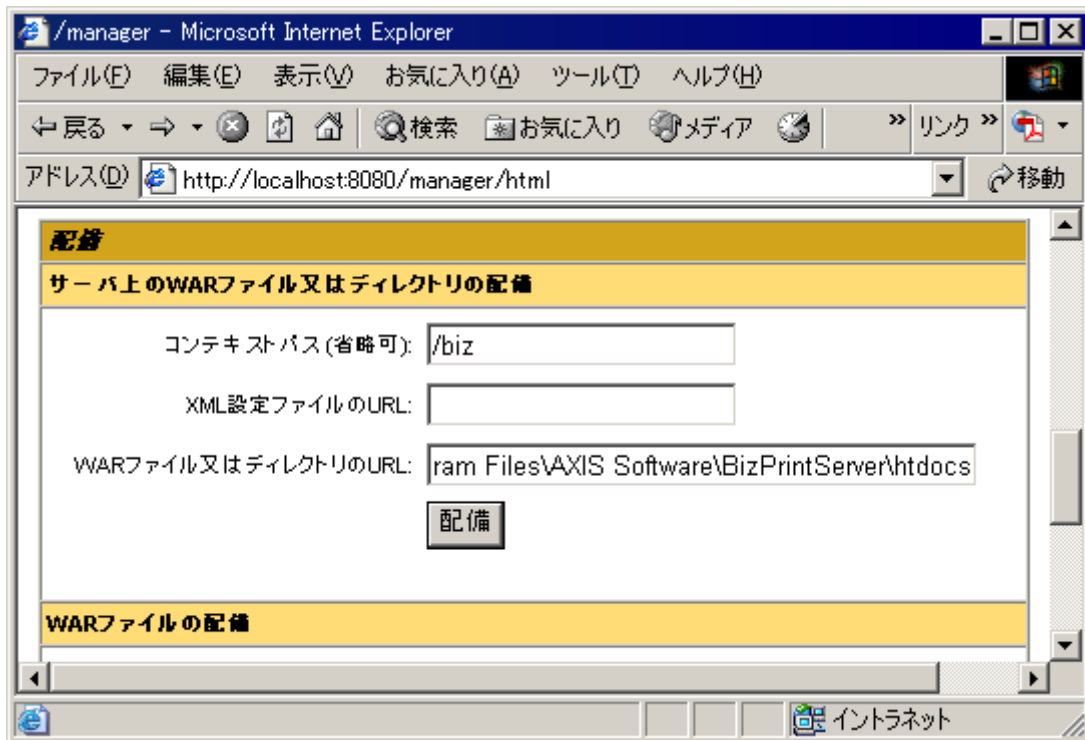
Apache Tomcat を導入したサーバで、Windows のスタートメニューから「プログラム」→「Apache Tomcat 5.5」→「Tomcat Manager」をクリックしてください。

ユーザ名とパスワードの入力を求められるので、Apache Tomcat のインストール時に設定したものを入力してください。



Apache Tomcat の設定に詳しい方は、任意の方法で設定を行ってください。

サンプルの配備を行います。画面を下にスクロールし、「配備」の部分を表示してください。



「コンテキストパス」には、「/」で始まる任意の名前を入力してください。

「XML 設定ファイルの URL」は、空欄のままにします。

「WAR ファイル又はディレクトリの URL」には、前項で作成した htdocs の場所 (Biz/PrintServer が同一サーバ内にある場合は、インストールディレクトリある htdocs) を指定してください。

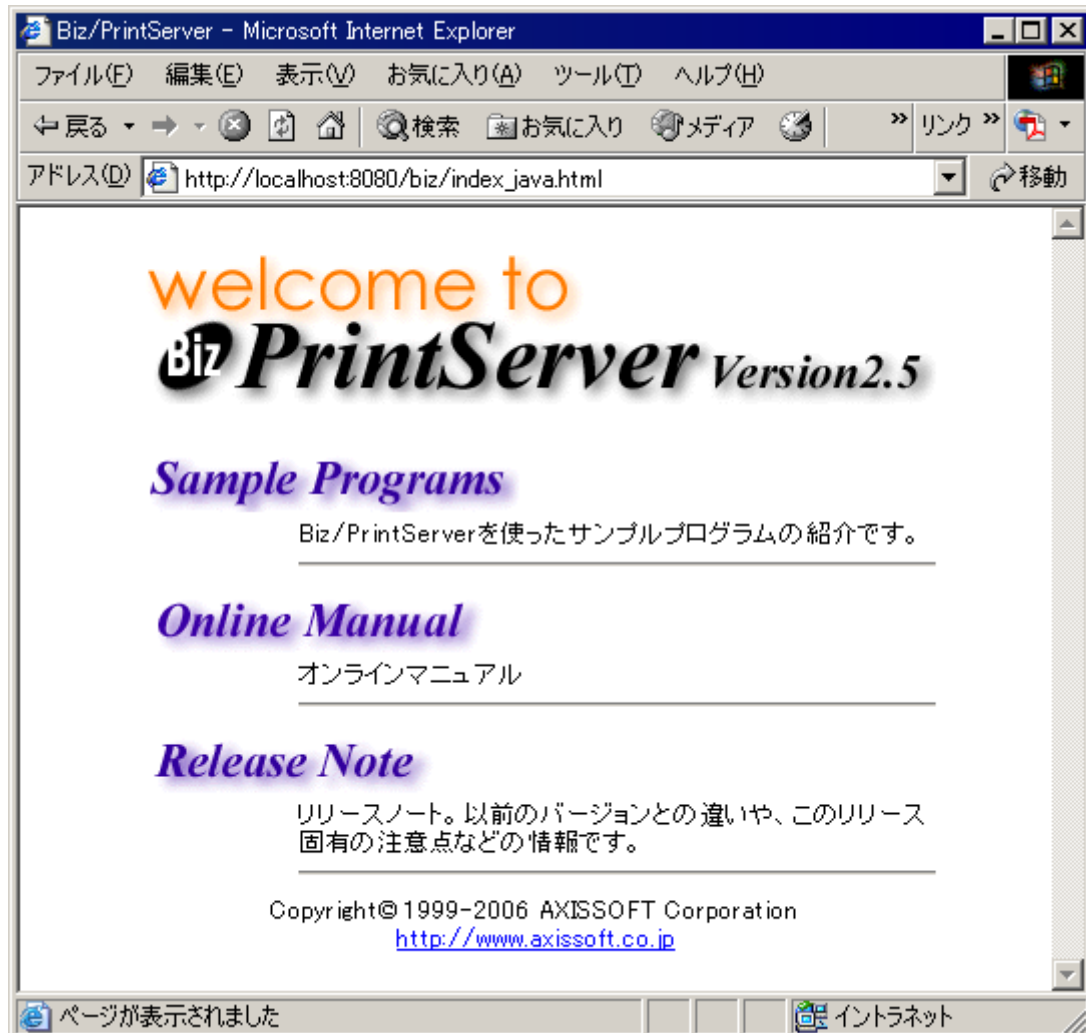
「配備」ボタンをクリックして、配備を行います。



この方法では、Apache Tomcat は htdocs ディレクトリのコピーを作成します。実際に動作するのは、コピー先の<Apache Tomcat インストールディレクトリ>%webapps%<コンテキスト名>にあるファイルとなります。

次に **Internet Explorer** を開いて動作を確認します。

URL に `http://localhost:8080/<コンテキスト名>/index_java.html` を指定してください。

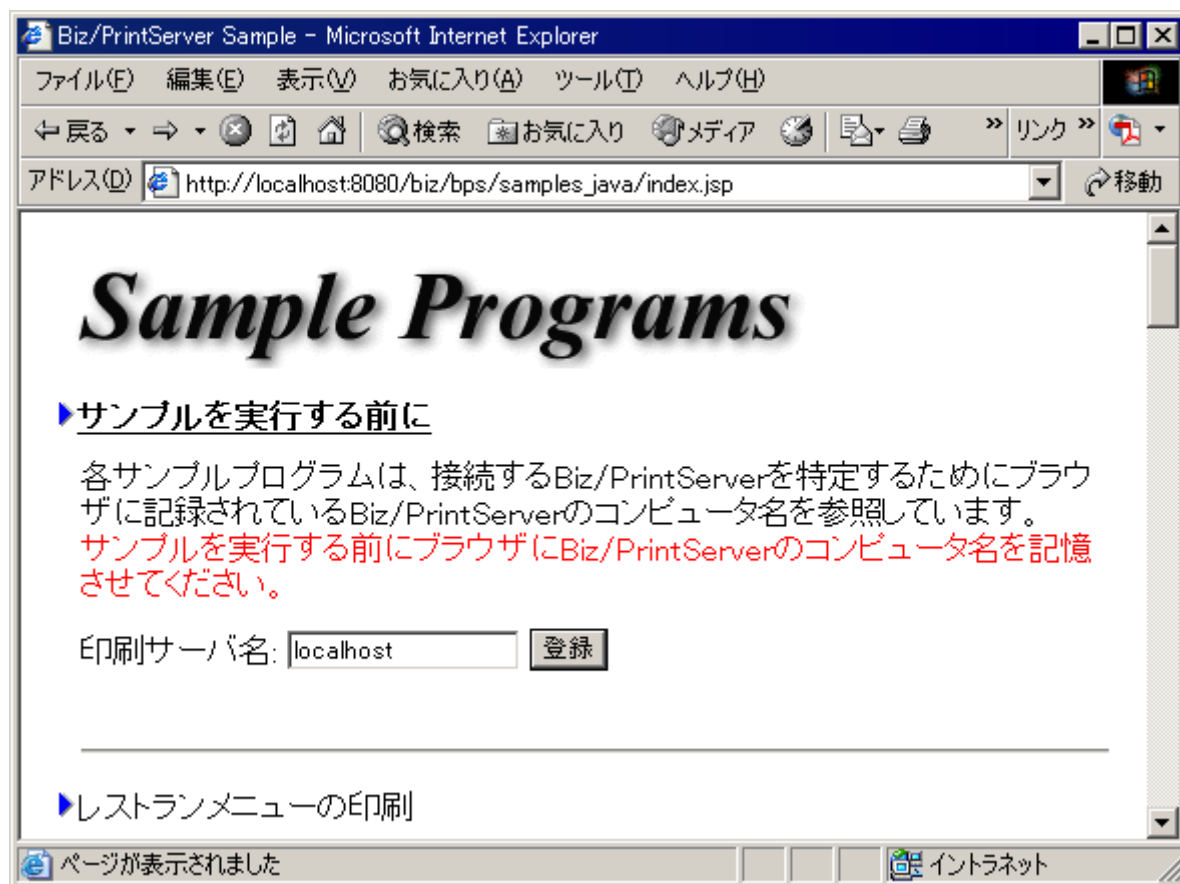


Biz/PrintServer と IIS の連携サンプルのページが表示されます。

「**Sample Programs**」をクリックしてください。



この画面は、Biz/PrintServer の管理画面 (`http://localhost:8088`) と似ていますが、別のものです。



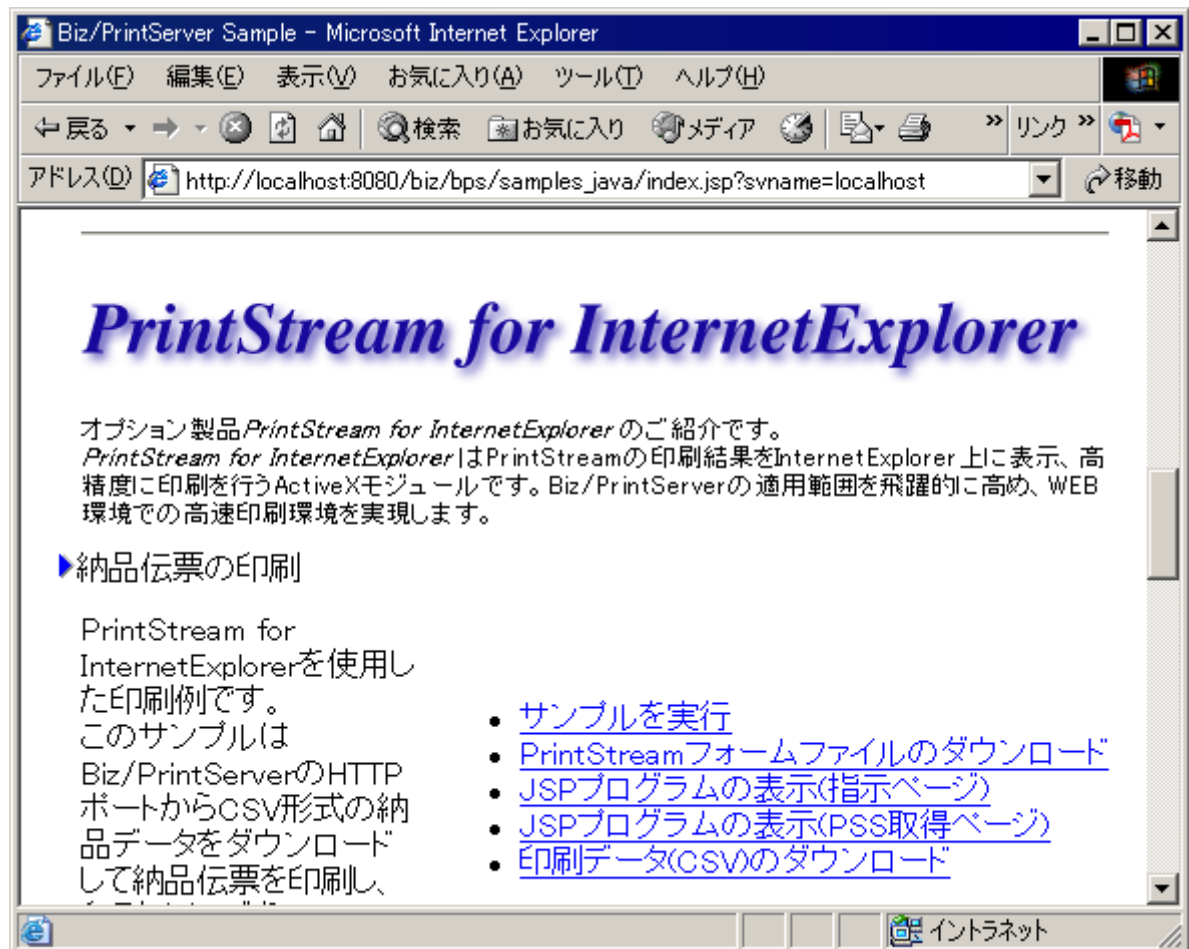
「印刷サーバ名」には、Biz/PrintServer のサーバ名を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。



Apache Tomcat と Biz/PrintServer が同一サーバ内にある場合は、印刷サーバ名は「localhost」を登録できます。

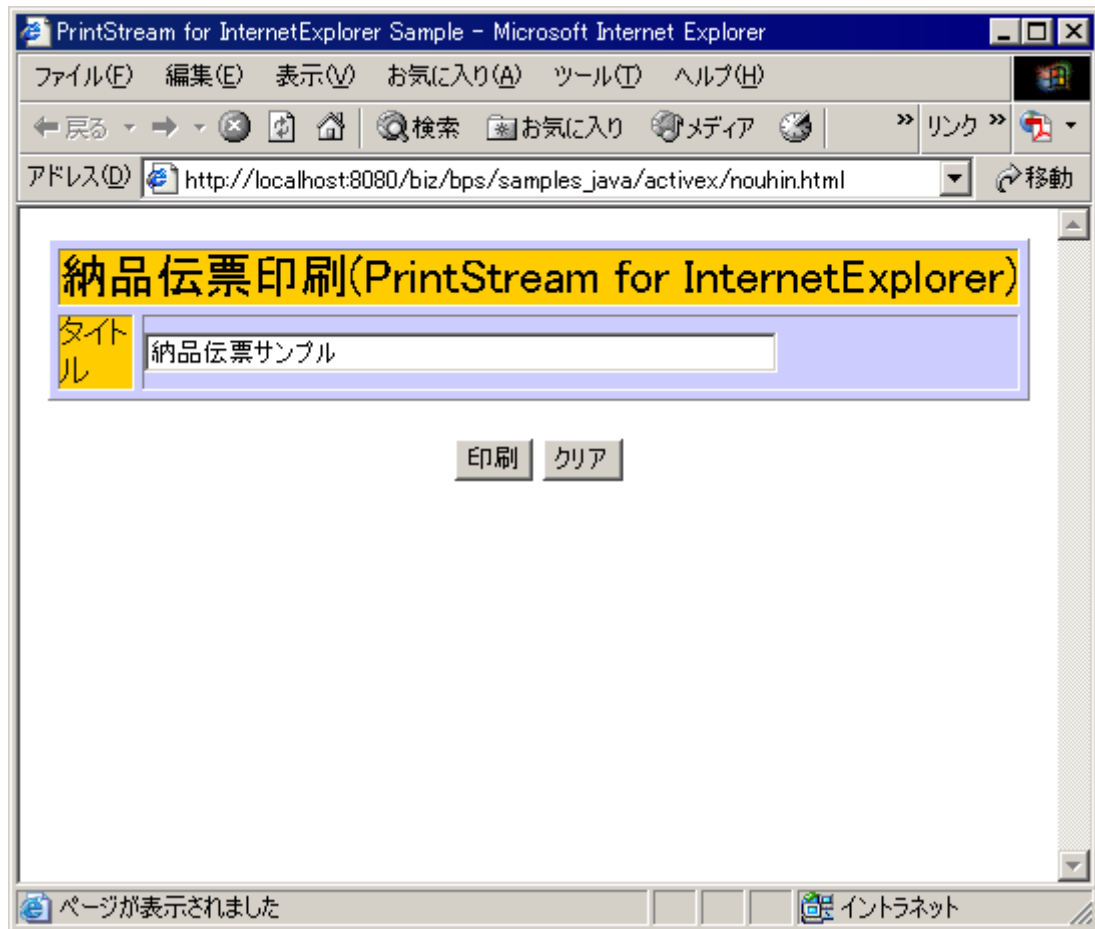
次に、実際にサンプルの動作確認を行います。

画面をスクロールし、「PrintStream for Internet Explorer」のサンプルを表示してください。

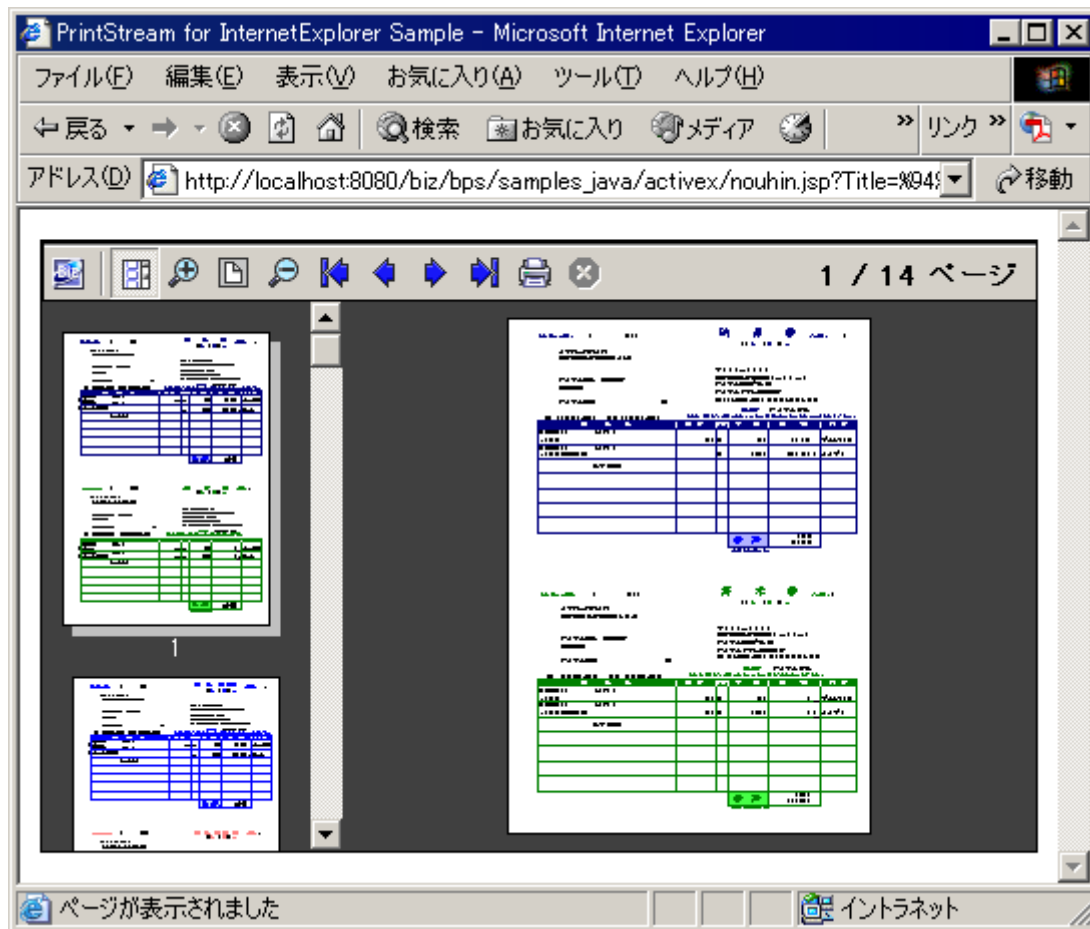


「サンプルを実行」をクリックしてください。

別ウィンドウで画面が開きます。



「印刷」ボタンを押してください。



プレビュー画面が表示されれば、Apache Tomcat との連携確認は完了です。
プレビュー画面が表示されない場合は、ここまでの手順を再度確認してください。

7.4. Apache Tomcat サンプルの確認

Apache Tomcat 用サンプルプログラムには、さまざまなケースでの実装方法について記述された JSP のソースコードを添付しています。

これらのサンプルプログラムは、Biz/PrintServer との連携部分のプログラミング作成時に参考になります。



JavaConnect の API に関する詳細については、Biz/PrintServer 管理画面(localhost:8088)の「Online Manual」→「Developer」→「Java インタフェース」に詳しく記載されています。

1. サーバサイド印刷のサンプル

サーバに接続されたプリンタに対して印刷を行うサンプルです。プリンタは Biz/PrintServer に登録され、管理されます。

サンプルの場所

<Biz/PrintServer インストールディレクトリ>%htdocs%\bps\samples_java\print

サンプルの構成

menulist.html menucard.html

サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目とプリンタの選択機能があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

menucard.jsp menulist.jsp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、プリンタへの印刷指示を出します。

printer.jsp

Biz/PrintServer に接続してプリンタの一覧を取得し、画面に表示します。

job.jsp

Biz/PrintServer に接続して印刷ジョブの状況を取得し、画面に表示します。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

フォームファイルは、<Biz/PrintServer インストールディレクトリ>%forms%\qfm にある menulist_jsp.qfm、menucard.qfm が使用されます。

2. クライアントサイド印刷のサンプル

PrintStream for Internet Explorer (ActiveX) を利用したクライアントサイド印刷のサンプルです。クライアントに接続されたプリンタに印刷を行います。

サンプルの場所

＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥htdocs¥bps¥samples_java¥activex

サンプルの構成

nouhin. html

サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

nouhin. jsp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、PSS ファイル生成指示を出します。クライアントには、PrintStream for Internet Explorer を起動するための HTML を返します。

pss. jsp

Biz/PrintServer の生成した PSS ファイルを取得し、クライアントに返します。
PrintStream for Internet Explorer から呼び出され、印刷プレビューを実現します。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

フォームファイルは、＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥forms¥qfm にある nouhin. qfm が使用されます。



PrintStream for Internet Explorer の HTML 上での呼び出し方法については、PrintStream FormEditor オンラインマニュアルの「PrintStream ActiveX」→「使い方」→「HTML の表記方法」に詳しく記載されています。

3. PDF 生成のサンプル

Document Generator を利用した PDF 生成のサンプルです。

Document Generator PrintStream は、PrintStream FormEditor を使用して作成されたフォームから PDF を生成します。

Document Generator HTML は、HTML で作成されたフォームから PDF を生成します。

サンプルの場所

＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥htdocs¥bps¥samples_iis¥docgen

サンプルの構成

nouhin_pdf.html

Document Generator PrintStream サンプルの最初の画面です。幾つかの入力項目があり、印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

europepdf.html taxpdf.html

Document Generator HTML サンプルの最初の画面です。印刷ボタンを押して印刷リクエストを発行します。

nouhin.jsp europepdf.jsp taxpdf.jsp

印刷リクエストを受けて Biz/PrintServer との接続を行い、PDF ファイル生成指示を出します。クライアントには、PDF ファイルを呼び出すための HTML を返します。

showpdf.jsp

Biz/PrintServer の生成した PDF ファイルを取得し、クライアントに返します。

europe.html tax.html

Document Generator HTML のフォームファイルです。

その他のファイルは、サンプル画面表示用で動作には関係ありません。

Document Generator PrintStream のフォームファイルは、＜Biz/PrintServer インストールディレクトリ＞¥forms¥qfm にある nouhin.qfm が使用されます。



DocumentGenerator HTML は、HTML から PDF を生成するオプション製品です。

Biz/PrintServer 導入ガイド

2006年12月7日 初版発行

2007年7月4日 第二版発行

発行：アクシスソフト株式会社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-5 ダヴィンチ東池袋ビル4F

問い合わせ先：サポート係 biz-qa@axissoft.co.jp